■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

“ハンディカム”の最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

“ハンディカム”ホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
“ハンディカム”の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア(PMB)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル.. 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話..........................0466-31-2511
最初のガイダンスが流れている間に下記番号+「#」を押してください。
本機や付属品：「400」
付属ソフトウェア「PMB」：「404」
受付時間:月～金 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル.. 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話.......................... 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）:0120-333-389

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくはWEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

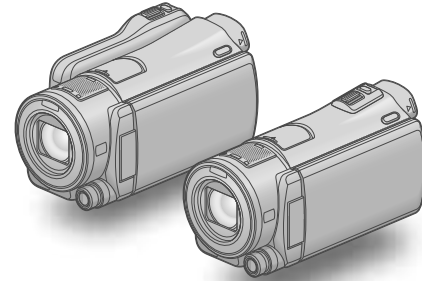
この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

4170538020

SONY
HANDYCAM
HDR-CX550V/XR550V

SONY

4-170-538-**02**(1)

HDR-CX550V/XR550V

デジタルHDビデオカメラレコーダー

取扱説明書

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→ 138 ～ 140ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら
煙が出たら**

➡

❶ 電源を切る
❷ 電池を外す
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

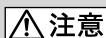
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

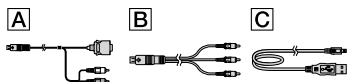
電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

付属品を確かめましょう

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。(　)内は個数。

- □ ACアダプター(1)
- □ 電源コード(1)
- □ D端子A/Vケーブル(1) A
- □ A/V接続ケーブル(1) B
- □ USBケーブル(1) C
- □ ワイヤレスリモコン(1)
- □ リチャージャブルバッテリーパック NP-FV50(1)
- □ CD-ROM「“Handycam” Application Software」(1)
  - 「PMB」(ソフトウェア、「PMBヘルプ」を含む)
  - 「“ハンディカム” ハンドブック」(PDF)
- □ 取扱説明書(1)(本書)
- □ 保証書(1)

- 本機で使えるメモリーカードについては、20ページをご覧ください。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。

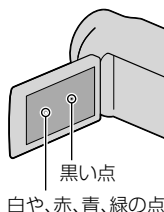
ファインダー

液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(125ページ)。
- 飛行機の離着陸時には、機内の案内に従ってGPSスイッチを「OFF」にして、電源をお切りください。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。

- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします（97ページ）。初期化すると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

再生に際してのご注意

- 本機は、ハイビジョン画質（HD）の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質（HD）で記録した映像は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格に非対応の機器
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質（STD）の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。画像データはパソコンを使ってDVD-Rなどのディスクに保存することをおすすめします。ビデオ、DVD/HDDレコーダーなどで画像データを保存することもできます（71ページ）。
- MENU（メニュー）→［ほかの項目］→［撮影設定］の［録画モード］を［HD FX］にして撮影した動画からAVCHDディスクを作ることはできません。ブルーレイディスク、または外付けメディアに保存してください（67、69ページ）。

バッテリー・電源アダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます（111ページ）。

パソコンやアクセサリーなどとの接続について

- パソコンから本機の記録メディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

画像が正しく記録・再生されないときは[メディア初期化]してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[メディア初期化](97ページ)を行ってください。

別売りのアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

本書の表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本書では、内蔵メモリー(HDR-CX550V)、内蔵ハードディスク(HDR-XR550V)、メモリーカードを「記録メディア」といいます。
- 本書では、ハイビジョン画質(HD)で保存したDVDディスクを「AVCHDディスク」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

パソコンで本書を見るには

- 付属CD-ROMの「"ハンディカム"ハンドブック(PDF)」をインストールしてください。
- お使いのパソコンがWindowsのときは、インストール画面で[ハンドブック]→言語とお使いの機種名→[インストール]をクリックし、画面に従ってインストールしてください。デスクトップにショートカットができます。
- Macintoshのときは、CD-ROM内の[Handbook]－[JP]フォルダから[Handbook.pdf]をコピーしてください。
- 「"ハンディカム" ハンドブック」を見るにはAdobe Readerが必要です。アドビ社のホームページから無償でダウンロードできます。
http://www.adobe.co.jp

型名をご確認ください

- 機種間で異なる仕様がある場合、搭載機種の型名を本書で明記しています。型名は、本機の底面でご確認ください。
- 本シリーズの主な機種の差分は、次の通りです。

	記録メディア	内蔵記録メディアの容量
HDR-CX550V	内蔵メモリー＋メモリーカード	64 GB
HDR-XR550V	内蔵ハードディスク＋メモリーカード	240 GB

取扱い上のご注意

- 本機で次のことをすると、記録メディアが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
  - アクセスランプ（21ページ）が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
  - 本機の（動画）ランプ/（静止画）ランプ（22ページ）や、アクセスランプ（21ページ）が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える
- ショルダーベルト（別売）を使用中は、本機を物にぶつけないようにしてください。
- 大音量の場所では、本機を使用しないでください（HDR-XR550V）。

落下検出について（HDR-XR550V）

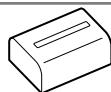
- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は［落下検出］機能（101ページ）を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になったりすると、内蔵ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

高地などでの使用について（HDR-XR550V）

- 気圧の低い場所（海抜5,000メートル以上）では本機の電源を入れないでください。内蔵ハードディスクを破損するおそれがあります。

使いかたの流れ

準備する（14ページ）

電源やメモリーカードを準備します。

撮る（22ページ）

動画を撮る ➡ 23ページ

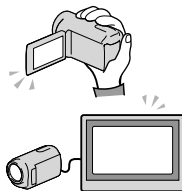
💡画質（ハイビジョン/標準）と録画モードを変えるには（28ページ）

💡撮影可能時間の目安を確認するには（メディア情報、97ページ）

静止画を撮る ➡ 25ページ

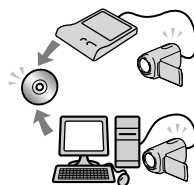
見る

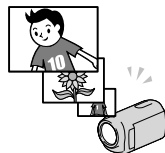
本機で見る ➡ 33ページ

テレビにつないで見る ➡ 41ページ

保存する

パソコンを使って保存する ➡ 58ページ

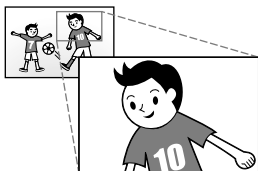
外付けメディアに保存する ➡ 69ページ

DVDライター /レコーダーを使って保存する ➡ 71ページ

削除する（45ページ）

保存済みの動画・静止画を本機のメディアから削除すると、空いたメディアの記録可能領域に再び記録できます。

撮影のためのアドバイス

■ きれいに撮るためには

★安定した姿勢で撮る

上体を起こし、脇をしめて、構えましょう。
手ブレ防止機能に頼り切らずに、本機をむやみに動かさないことが基本です。

★ズームはなめらかに

ゆっくり、なめらかにズームしましょう。
ズームを控えめに使い、なめらかなズームを心がけると、再生したときに、見やすい映像になります。

★パンニングでスケール感を演出

本機を水平に動かす「パンニング」を活用しましょう。
安定した姿勢で、身体をゆっくり回して撮ります。さらに、終わりで数秒止めると、安定感のある映像になります。

★ナレーションで映像にアクセントを

撮影中の画面をナレーションのように説明したり、被写体に話しかけたりして、音声に配慮しましょう。
撮影者の声は、被写体よりも大きく録音されがちなので、小さめに。

★アクセサリーを有効活用

本機対応アクセサリーも活用しましょう。
例えば、三脚は、長時間撮影や、花火など夜間撮影でも見やすい画像を撮影できます。また、予備バッテリーも準備すると安心です。

■こんなときにこんな機能

面倒な設定をせずにきれいに撮りたい
おまかせオート(27ページ)

画面左の子供にピントを合わせたい
優先する被写体を決めて撮影する(29ページ)
スポットフォーカス(85ページ)

動画撮影中に静止画も撮りたい
デュアル記録(31ページ)
スマイルシャッター (30ページ)

暗い部屋で子供の寝顔を撮りたい
NightShot(31ページ)
LOW LUX(89ページ)

夕焼けや花火をきれいに撮りたい
打ち上げ花火(83ページ)
日の出＆夕焼け(83ページ)

ゴルフのスイングをチェックしたい
ゴルフショット(87ページ)
なめらかスロー録画(88ページ)

目次

準備する

撮る／見る

使いこなす

パソコンを使って保存する

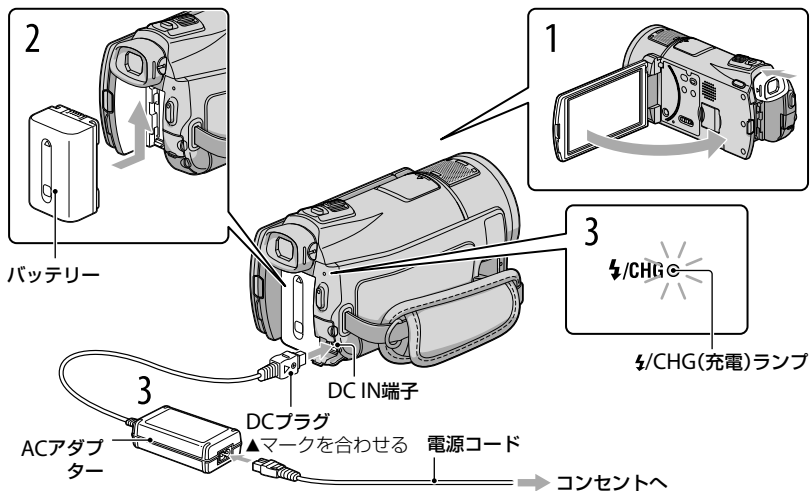
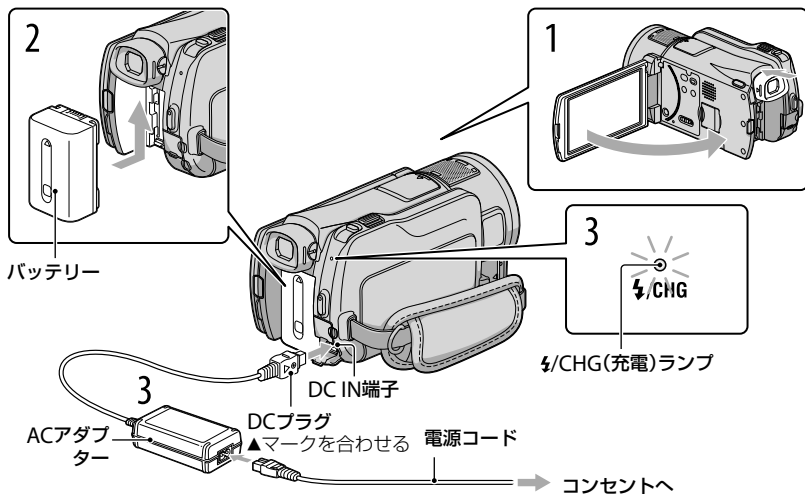
他機を使って保存する

本機の設定を変える

その他

各部のなまえ・索引

準備1：バッテリーを充電する

HDR-CX550V

HDR-XR550V

専用の"インフォリチウム"バッテリー（Vシリーズ）を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- “インフォリチウム”バッテリー Vシリーズ以外は使えません。

1 本機の液晶画面を閉じ、ファインダーを収納して、電源を切った状態にする。

2 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

3 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

ϟ/CHG(フラッシュ /充電)ランプが点灯し、充電が始まります。
充電が完了するとϟ/CHG(フラッシュ /充電)ランプが消えます(満充電)。

4 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

ちょっと一言

- 撮影・再生可能時間は、116ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面左上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量を確認できます。

充電時間(満充電)

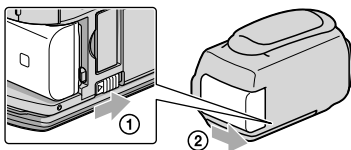
使い切った状態からのおよその時間(分)

バッテリー型名	満充電時間
NP-FV50(付属)	155
NP-FV70	195
NP-FV100	390

- 25℃で使用したときの時間です。10 ~ 30℃でのご使用をおすすめします。

バッテリーを取り外すには

液晶画面を閉じて、BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら(①)バッテリーを取り外す(②)。

準備する

コンセントの電源で使うには

「準備1：バッテリーを充電する」のつなぎかたのまま操作する。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

ご注意

- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用しないでください。

バッテリーについて

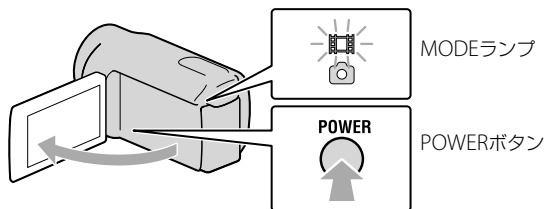
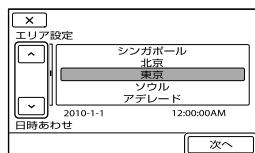
- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、本機の液晶画面を閉じ、ファインダーを収納して、（動画）ランプ/（静止画）ランプ（22ページ）、アクセスランプ（21ページ）が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中の/CHG（フラッシュ /充電）ランプが点滅することがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーの温度が低いとき
    バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
  - バッテリーの温度が高いとき
    バッテリーを外して涼しいところに置いてください。
- ビデオライト（別売）を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FV70またはNP-FV100でのご使用をおすすめします。
- NP-FV30は撮影・再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分間続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、101ページ）。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

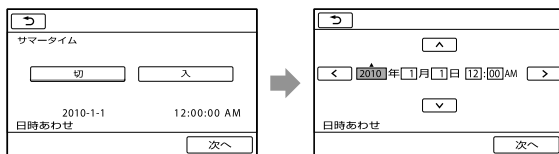
準備2：電源を入れて日時を合わせる

1 本機の液晶画面を開く。

レンズカバーが開き、電源が入ります。
- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタンを押します。

2 [^]/[v] でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

- 再度、時計あわせをするには、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[一般設定]の[時計設定]→[日時あわせ]の順にタッチします。画面にないときは、[^]/[v] をタッチして項目を表示させます。

3 サマータイムを設定し、日時を設定して、[OK] をタッチする。

時計が動き始めます。
- [サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

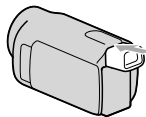
準備する

ご注意

- 日付時刻は撮影時には表示されません。撮影した記録メディアに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→▶[再生]の[再生設定]→[日時/データ表示]→[日付時刻データ]→ OK → ↩ → × をタッチします。
- ボタンをタッチしたときなどの操作音を消すには、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→🔧[一般設定]の[音/画面設定]→[操作音]→[切]→ OK → ↩ → × をタッチします。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調整（キャリブレーション）をしてください（126ページ）。
- 一度日時を設定したあとは、[自動時刻補正]（56ページ）/[自動エリア補正]（56ページ）を[入]に設定しておくと自動的に日時が補正されます。地域によっては正しい時刻にならない場合があります。その場合は[切]に設定してください。

電源を切るには

液晶画面を閉じる。🎞（動画）ランプが数秒間点滅して、電源が切れます。

ちょっと一言

- POWERボタンを押しても電源を切ることができます。
- ファインダーが引き出されている場合は、ファインダーを元の位置に押し込んでください。

電源の入/切について

液晶画面とファインダーの状態によって、電源の入/切が変わります。

状態		電源
液晶画面	ファインダー	
開いている	収納されている	入
	引き出されている	入
閉じている	収納されている	切
	引き出されている	入

ご注意

- 液晶画面が閉じていても、ファインダーが引き出されていると電源は切れません。電源を切るときは、ファインダーが元の位置に押し込まれていることを確認してください。

準備3：メディアを準備する

本機で使用できる記録メディアは、お使いの機種によって異なります。本機の画面では次のようなアイコンで表示されます。

HDR-CX550V：

内蔵メモリー*　　メモリーカード

HDR-XR550V：

内蔵ハードディスク*　　メモリーカード

* お買い上げ時の設定ではこの記録メディアに動画・静止画が記録されます。設定したメディアで画像を記録、再生、編集できます。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は117ページをご覧ください。
- 静止画の撮影可能枚数は、118ページをご覧ください。

動画の記録メディアを変える

1 **MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[メディア管理]の[メディア設定]→[動画メディア設定]をタッチする。**

[動画メディア設定]画面が表示されます。

2 **希望の記録メディアをタッチする。**

3 **[はい]→ OK をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

静止画の記録メディアを変える

1 **MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[メディア管理]の[メディア設定]→[静止画メディア設定]をタッチする。**

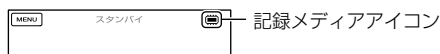
[静止画メディア設定]画面が表示されます。

2 **希望の記録メディアをタッチする。**

3 **[はい]→ OK をタッチする。**

記録メディアが切り替わります。

記録メディアを確かめるには

動画または静止画の撮影モードで、画面右上に設定されている記録メディアが表示されます。

- 表示されるアイコンはお使いの機種によって異なります。

メモリーカードを入れる

ご注意

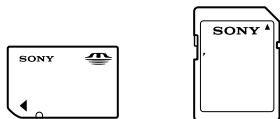
- メモリーカードに動画や静止画を記録する場合は、記録メディアを[メモリーカード]に設定してください。

本機で使えるメモリーカード

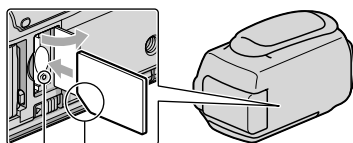
- 本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、およびスピードClass 4以上の SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本機で動作確認されている"メモリースティック PRO デュオ"は32GB、SDカードは64GBまでです。
- 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください(裏表紙)。
- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)、"メモリースティック PRO-HG デュオ"を「"メモリースティック PRO デュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード を「SDカード」と表現しています。

ご注意

- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、初期化画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。
  * exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

本機で使えるメモリーカードのサイズ

- 標準の"メモリースティック"の約半分の大きさの"メモリースティック PRO デュオ"、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。

カバーを開き、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。

- 入れた後はカバーを閉じてください。

新しいメモリーカードを入れたときは、[管理ファイル新規作成]画面が表示されることがあります。その場合は、[はい]をタッチしてください。メモリーカードに静止画のみを記録する場合は、[いいえ]をタッチします。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。

ご注意

- [管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(97ページ)。

メモリーカードを取り出すには

カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

- 撮影中にカバーを開けないでください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮る

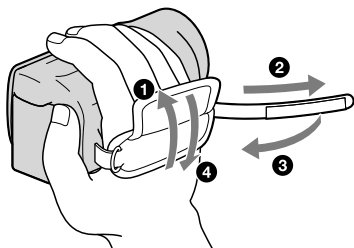
お買い上げ時の設定では、動画はハイビジョン画質（HD）で次の記録メディアに記録されます。

HDR-CX550V：内蔵メモリー

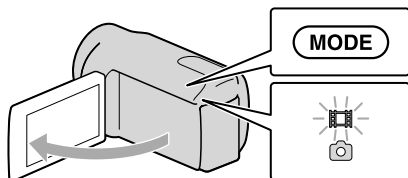
HDR-XR550V：内蔵ハードディスク

ちょっと一言

- 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。

1 グリップベルトをしっかり締める。

2 本機の液晶画面を開く。

本機の電源が入り、レンズカバーが開きます。

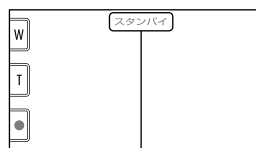
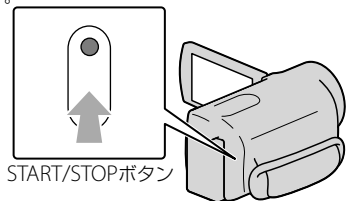
- 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタンを押します(17ページ)。
- MODEボタンを押すことで撮影モードを切り換えられます。撮影したいモードのランプを点灯させてください。

MODEボタン

（動画）：動画を撮影するとき

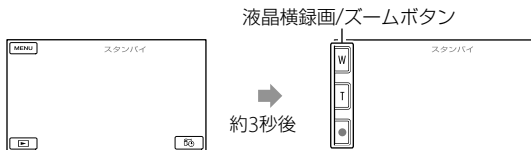
（静止画）：静止画を撮影するとき

動画を撮る

START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。

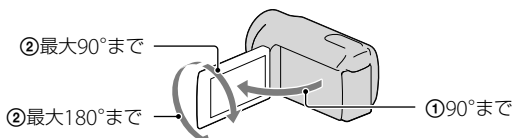
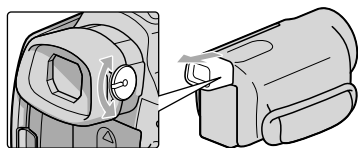
- 液晶画面左下の●をタッチしても録画できます。

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

- 液晶画面左下の●をタッチしても録画を停止できます。

- 液晶画面の表示は、電源を入れたり、撮影（動画・静止画）/再生モードを変えたりしてから約3秒経つと消えます。もう一度表示するには、液晶横録画/ズームボタン以外の画面をタッチしてください。

ご注意

- 撮影中に液晶画面を閉じると、録画が止まります。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータを記録メディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
  - アクセスランプ(21ページ)が点灯中、または点滅中
  - 液晶画面右上のメディアアイコンが動作中

ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は117ページをご覧ください。
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます（デュアル記録、31ページ）。
- 人物の顔を検出すると白色の枠が表示され、顔部分の画質が自動的に調節されます（[顔検出]、89ページ）。
- 優先する被写体を選んで撮影できます（29ページ）。
- お買い上げ時の設定では、動画撮影中に人物の笑顔を検出して、自動的に静止画を記録します（スマイルシャッター、30ページ）。
- 記録した動画から静止画を作成できます（48ページ）。
- 撮影可能時間や空き容量の目安などを確認するには、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[メディア管理]の[メディア情報]をタッチします（97ページ）。
- 本機に搭載されている液晶画面は、記録エリア全体を表示できます（フルピクセル表示）。このため、フルピクセル表示機能のないテレビに接続した場合、画面の上下左右が若干切れて表示されることがあります。[ガイドフレーム]（88ページ）を[入]にして、表示される外側の枠を目安に撮影することをおすすめします。
- 液晶画面を見やすく調節するには、液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節してください（②）。

- ファインダーのみで撮るときは、ファインダーを引き出して液晶画面を閉じてください。ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー横の視度調節つまみで調節してください。

- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[アクティブ]です。

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータ/緯度経度データとして確認できます（95ページ）。

静止画を撮る

お買い上げ時の設定では、静止画は次の記録メディアに記録されます。
HDR-CX550V：内蔵メモリー
HDR-XR550V：内蔵ハードディスク

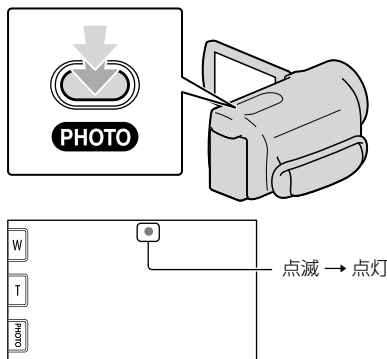
ちょっと一言

- 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。

1 MODEボタンを押して、(静止画)ランプを点灯させる。

静止画撮影モードに切り替わり、画像の横縦比が4：3になります。

2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。

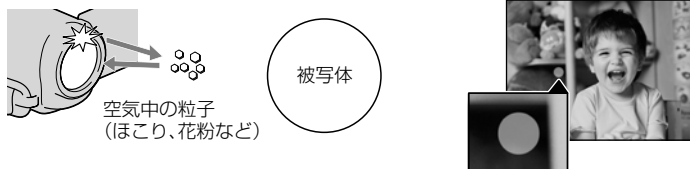
- 液晶画面の PHOTO を押しても撮影できます。

が消えると記録されます。

ちょっと一言

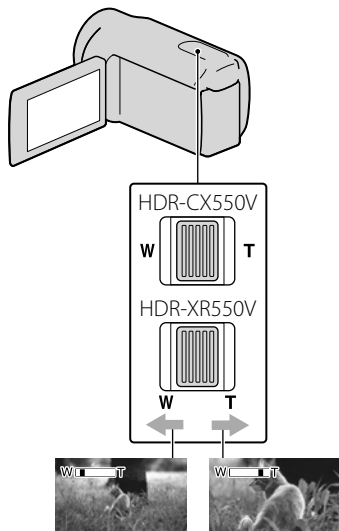
- 静止画の撮影可能枚数は118ページをご覧ください。
- 画像サイズは、MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［静止画設定］の［ 画像サイズ］→ 好みの設定 → OK → × をタッチして変更できます。
- 表示中は静止画撮影できません。
- 暗い場所では自動的にフラッシュが発光します。動画撮影モードのときは発光しません。フラッシュの発光方法は、MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［静止画設定］の［フラッシュモード］→ 好みの設定 → OK → × をタッチして変更できます（93ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売）を付けてフラッシュ撮影をすると、影が映ることがあります。

撮る／見る

静止画に白く丸い点が写るときは

レンズの近くに浮かんでいるほこりや花粉などにフラッシュが反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。
軽減するには、撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影してください。

撮るときに便利な機能

ズームする

14倍までズームできます。倍率はズームレバーで調整します。液晶画面の W/T をタッチしても操作できます。

広角：Wide（ワイド）　望遠：Telephoto（テレフォト）

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

ご注意

- ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。
- 液晶画面の W/T では、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- [手ブレ補正]が[アクティブ]以外のときは、10倍までの光学ズームができます。

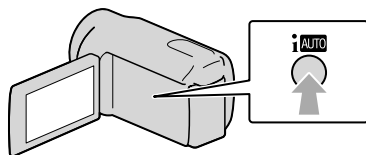
ちょっと一言

- さらにズームするには、[デジタルズーム]（91ページ）を使ってください。

カメラまかせでかんたんキレイに撮影する（おまかせオート）

iAUTO ボタンを押すと、おまかせオートで撮影できます。本機を撮影したい対象に向けると、顔認識、シーン認識、手ブレ検出の3種類の検出機能を組み合わせて、最適な撮影を行います。シーンなどを検出すると対応するアイコンが表示されます。

ちょっと一言

- お買い上げ時には、おまかせオートは「入」に設定されています。

顔認識

（人物）、（赤ちゃん）
顔を検出して、顔部分が最適になるようにフォーカス/色/露出を調節します。

シーン認識

（逆光）、（風景）、（夜景）、（スポットライト）、（低照度）、（マクロ）
撮影シーンに合わせて、最適な撮影設定に切り替わります。

手ブレ検出

（歩き）、（三脚）
手ブレの状態を感知して、撮影に最適な設定に切り替わります。

ご注意

- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。
- 認識されたシーンによっては、内蔵フラッシュが発光しない場合があります。

おまかせオートを解除するには

iAUTO ボタンを押す。

iAUTO や検出モードのアイコンが消え、お好みに合わせた撮影ができます。

また、以下の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。

- NightShot
- [絞り]
- [シャッタースピード]
- [AEシフト]
- [WBシフト]
- [ゴルフショット]
- [なめらかスロー録画]
- [シーンセレクション]
- [ホワイトバランス]
- [SPOT測光フォーカス]
- [スポット測光]
- [スポットフォーカス]
- [カメラ明るさ]
- [フォーカス]
- [テレマクロ]
- [手ブレ補正]
- [手ブレ補正]
- [自動逆光補正]
- [LOW LUX]
- [顔検出]
- [優先被写体設定]

ご注意

- おまかせオートを「入」にすると、上記設定で手動設定した項目が全てお買い上げ時の設定に戻ります。

ハイビジョン画質(HD)/標準画質(STD)を設定する

本機では、高精細な映像を楽しめるハイビジョン画質(HD)と、再生機器との互換性にすぐれた標準画質(STD)の2種類から画質を選べます。撮影する場面や再生機器に合わせて、お好みの画質を選んでください。

1 MENU(メニュー)→[ほかの項目]→ [撮影設定]の[HD/STD設定]をタッチする。

2 ハイビジョン画質(HD)で撮影するときは[HD HD画質]、標準画質(STD)で撮影するときは[STD STD画質]をタッチする。

3 [はい] → OK をタッチする。

記録される画質が切り替わります。

ちょっと一言

- 設定した画質でのみ、記録、再生、編集が可能です。別の画質で記録、再生、編集したいときは、画質を設定しなおしてください。

録画モードを選ぶ

ハイビジョン画質(HD)では、4種類の録画モードから選べます。録画モードによって、記録メディアへの録画可能時間が変わります。

1 MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［撮影設定］の［録画モード］をタッチする。

2 好みの設定をタッチする。

ハイビジョン画質（HD）での撮影時に、高画質で撮影する場合はFX、FHモードを、長時間撮影する場合はLPモードを選んでください。

3 OK → ✕ をタッチする。

ご注意

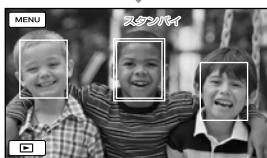
- ［録画モード］を［HD FX］にして撮影した動画からAVCHDディスクを作成することはできません。ブルーレイディスクまたは外付けメディアに保存してください（67、69ページ）。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質（HD）のFX、FHモードではAVCHD規格の1920×1080/60iになります。HQ、LPモードでは1440×1080/60iになります。標準画質（STD）では、MPEG-2規格で撮影します。
- ハイビジョン画質（HD）の画質を次から選べます。［HD FX］の24Mは、最大ビットレートです。［HD FX］以外の17Mなどの数値は、平均ビットレートです。
  - ［HD FX］（AVC HD 24M（FX））
  - ［HD FH］（AVC HD 17M（FH））
  - ［HD HQ］（AVC HD 9M（HQ））（お買い上げ時の設定）
  - ［HD LP］（AVC HD 5M（LP））
- 標準画質（STD）の画質は次の数値に固定されます。9Mは、平均ビットレートです。
  - ［STD HQ］（STD 9M（HQ））
- 24Mなどの「M」は「Mbps」のことです。

優先する被写体を決めて撮影する

［顔検出］（89ページ）が［入］（お買い上げ時の設定）で複数の顔が認識されたときに、優先させたい被写体の顔をタッチすると、タッチされた顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。タッチされた顔は、スマイルシャッターでも優先され、笑顔を検出すると自動的に静止画を記録します。

優先させたい顔にタッチ

二重枠が表示される

解除するには、二重枠のついた顔にもう一度タッチする。

ご注意

- 周囲の明るさ、被写体の髪型などによってタッチした顔が正しく検出できないことがあります。この場合は、撮影するときにもう一度タッチしてください。

ちょっと一言

- スマイル検出の対象となる顔の二重枠はオレンジ色になります。

- タッチした顔が画面から消えた場合は、[優先被写体設定]（90ページ）で設定した被写体を優先します。タッチした顔が画面に戻った場合は、タッチした顔が優先になります。

笑顔を自動で撮影する（スマイルシャッター）

お買い上げ時の設定では、動画撮影中に人物の笑顔を検出して自動的に静止画を記録します。スマイル検出の対象となる顔にはオレンジ色の枠がつきます。

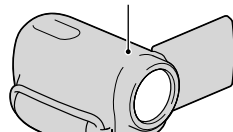
ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- [録画モード]を[HD FX]に設定しているときは、動画撮影中にスマイルシャッターは動作しません。

ちょっと一言

- [優先被写体設定]（90ページ）で顔検出とスマイル検出の対象被写体を設定できます。液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります。
- 笑顔が検出できない場合は、[スマイル検出感度]（90ページ）の設定をしてください。

臨場感のある音で記録する（5.1chサラウンド記録）

内蔵マイクでドルビーデジタル5.1chサラウンドの音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

ご注意

- 本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。
- ハイビジョン画質（HD）で記録した5.1chサラウンド音声を楽しむには、5.1chサラウンドに対応したAVCHD規格対応機器が必要です。
- HDMIケーブル（別売）で接続すると、5.1ch音声で記録したハイビジョン画質（HD）の動画は、自動的に5.1ch音声で出力されます。標準画質（STD）の動画は、2ch音声に変換して出力されます。

ちょっと一言

- 記録する音声を[5.1chサラウンド]（♪5.1ch）、[2chステレオ]（♪2ch）から選択できます（[オーディオモード]、91ページ）。
- 本機で記録した動画を付属のソフトウェア「PMB」を使ってディスクに保存し、ホームシアターなどで再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

動画を撮りながら静止画を撮る（デュアル記録）

動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を撮影できます。

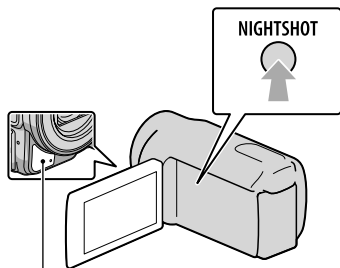
ご注意

- 動画撮影中はフラッシュ撮影ができません。
- 記録メディアの容量不足時や、連続して静止画を撮影すると、 が表示されることがあります。表示されている間は撮影できません。
- [録画モード]を[HD FX]に設定しているときは、デュアル記録はできません。

ちょっと一言

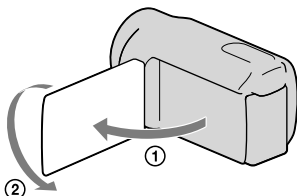
- MODEランプが （動画）のとき、静止画の画像サイズは[8.3M]（16：9）または[6.2M]（4：3）になります。
- 撮影スタンバイ中は （静止画）ランプ点灯時と同様に静止画を記録できます。

暗い場所で撮影する（NightShot）

NIGHTSHOTボタンを押すと、 が表示され、真っ暗なところでも撮影できます。

解除するには、NIGHTSHOTボタンをもう一度押す。

ご注意

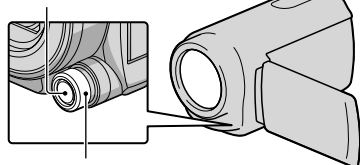
- NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ（別売）は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ（[フォーカス]、86ページ）をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。
- 薄暗い場所でカラーで撮影するときは、[LOW LUX]（89ページ）をお使いください。

自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回します（②）。

ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

MANUALダイヤルでマニュアル調節する

よく使うメニュー項目をダイヤル操作に割り当てると便利です。
ここでは[フォーカス]（お買い上げ時の設定）が割り当てられているときの説明をします。

1 MANUALボタンを押して、手動にする。

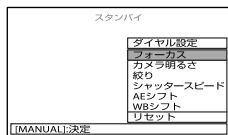
押すたびに自動/手動が切り替わります。

2 MANUALダイヤルを回して、手動でフォーカスを調整する。

設定できる項目

- ［フォーカス］…86ページ
- ［カメラ明るさ］…85ページ
- ［絞り］…絞り優先で撮影します。絞りを調整することで、背景をぼかして被写体をより引き立てたり、逆に背景にもピントがあった撮影ができます。
- ［シャッタースピード］…シャッタースピード優先で撮影します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。
- ［AEシフト］…86ページ
- ［WBシフト］…87ページ

メニュー項目を割り当てるには

① MANUALボタンを数秒間押し続ける。

② MANUALダイヤルを回して、割り当てたい項目を選ぶ。

③ MANUALボタンを押す。

ご注意

- いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、[AEシフト]を手動設定したあとで[カメラ明るさ]を設定した場合、[AEシフト]の効果は無効になります。
- [カメラ明るさ]、[絞り]、[シャッタースピード]のいずれかを設定すると、それ以外の2つの設定は解除されます。
- 手順②で[リセット]を選択すると、手動設定した項目がすべてお買い上げ時の設定に戻ります。

ちょっと一言

- MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ [撮影設定]の[その他撮影設定]→[ダイヤル設定]でメニュー項目を割り当てることもできます。
- 絞りをF3.4より開いた値（小さい絞り値）に設定しても、W側（広角）からT側（望遠）にズームするにつれて、絞り値はF3.4に変化します。
- 絞りを変えることで、ピントの合う範囲が変わります。絞りを開ける（絞り値が小さい）ほどその範囲が狭くなり、絞りを絞る（絞り値が大きい）ほどその範囲が広くなります。撮影の意図によって絞りの効果を使い分けることができます。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面がちらついたり（フリッカー現象）、色が変化したりすることがあります。 このようなときは、電源周波数が50Hzの地域（関東地方など）ではシャッタースピードを1/100、60Hzの地域（関西地方など）では1/60に設定することをおすすめします。

お買い上げ時の設定では、次の記録メディアに記録した動画や静止画を再生します。
HDR-CX550V：内蔵メモリー
HDR-XR550V：内蔵ハードディスク

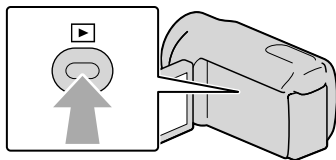
ちょっと一言

• 記録メディアの変えかたは19ページをご覧ください。

1 本機の液晶画面を開く。

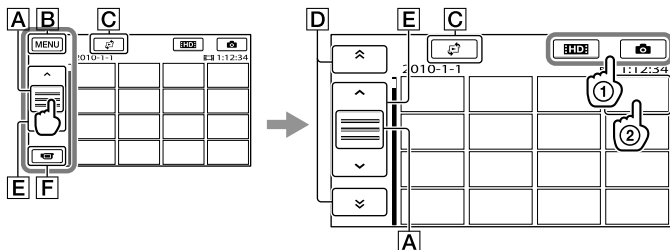
レンズカバーが開き、本機の電源が入ります。

• 液晶画面が開いた状態から電源を入れるときは、POWERボタンを押します（17ページ）。

2 ▶（画像再生）ボタンを押す。

数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。

• 液晶画面の ▶ （画像再生）をタッチしても同じです。

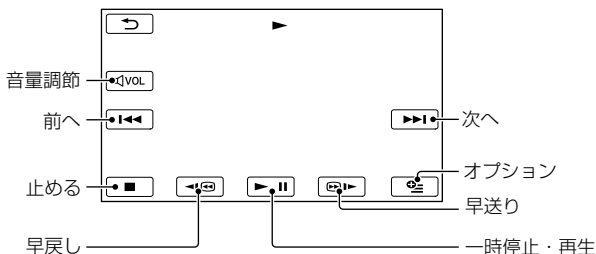
3 動画を見る場合は、HDまたはSTD（①）→見たい動画（②）をタッチする。静止画を見る場合は、📷（静止画）（①）→見たい静止画（②）をタッチする。

撮影した画像が、撮影日ごとに表示されます。

A 操作ボタンの切り換え

B メニューへ
C インデックス切り換え画面（[日付インデックス]、[地図]、[フィルムロール]、[フェイス]）を表示する（36、55、36、37ページ）。
D / ：前の撮影日へ/次の撮影日へ*
E / ：前の動画へ/次の動画へ
F 撮影画面へ
* Aをタッチすると表示されます。

- [/ 設定]（28ページ）で標準画質（STD）の動画を選択しているときは、①に が表示されます。
- DやEをタッチしたままずらすと、画面をスクロールできます。
- 最後に再生・撮影した動画や静止画に が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。（メモリーカードに記録された静止画は ▶）

動画の場合

動画の再生が始まります。

ご注意

- 他機では再生できない場合があります。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、 / はタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [再生]の[V. インデックス]をタッチして、ビジュアルインデックスを表示することもできます。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中は表示されませんが、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [再生]の[再生設定]→[日時/データ表示]→好みの設定→ OK → → をタッチすると再生時に表示できます。

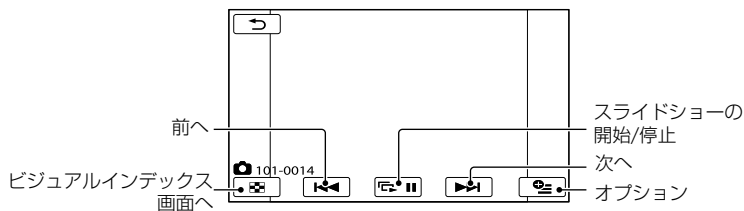
• お買い上げ時は、プロテクトされたデモンストレーション用の動画が保存されています。

音量を調節するには

動画再生中に、[VOL](音量調節)→ [−]/[+] で調節 → [戻る] をタッチします。

• オプションメニューからも [−] / [+] で調節できます。

静止画の場合

静止画が再生されます。

ちょっと一言

• 静止画の記録メディアがメモリーカードのときは、101▸(再生フォルダ)が表示されます。

撮る／見る

見るときに便利な機能

撮影日から画像を探す（日付インデックス）

撮影日から効率よく画像を探すことができます。

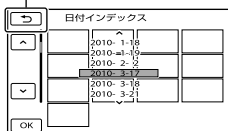
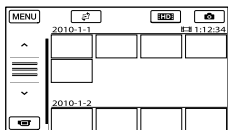
ご注意

- 日付インデックスは、メモリーカードの静止画では利用できません。

1 （画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックスが表示されます。

2 →[日付インデックス]をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

3 / をタッチして見たい画像の撮影日を選び、OK をタッチする。

選んだ日付に撮影した画像が表示されます。

ちょっと一言

- MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [再生]の[インデックス切換]→[日付インデックス]をタッチして、日付インデックスを表示することもできます。
- フィルムロールインデックスやフェイスインデックスでも画面右上の日付表示をタッチして、日付インデックスを表示できます。

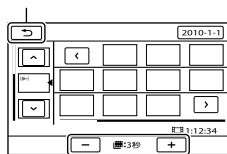
ピンポイントで見たい場面を探す（フィルムロールインデックス）

撮影した動画を時間間隔で区切ったものがインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。

1 （画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックスが表示されます。

2 →[フィルムロール]をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

時間間隔を設定する

3 / をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ＜/＞をタッチして表示された場面の中から、再生したい場面をタッチする。

選んだ場面から再生されます。

ちょっと一言

- MENU(メニュー)→[ほかの項目]→▶[再生]の[インデックス切換]→[フィルムロール]をタッチして、フィルムロールインデックスを表示することもできます。

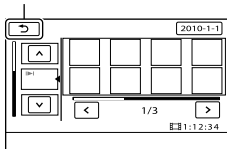
顔画像から見たい場面を探す（フェイスインデックス）

撮影時に検出した人物の顔画像やタッチした顔画像がインデックス画面で表示されます。
選んだ顔画像からの動画を再生できます。

1 ▶(画像再生)ボタンを押す。

ビジュアルインデックスが表示されます。

2 →[フェイス]をタッチする。

ビジュアルインデックス画面に戻る

3 ＾/∨をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ＜/＞をタッチして表示された顔画像の中から、再生したい場面の顔画像をタッチする。

選んだ顔画像の場面から再生されます。

ご注意

- 撮影状況によっては顔が検出されない場合があります。
  例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など
- フェイスインデックスから見るには、[顔検出]をあらかじめ[入](89ページ)(お買い上げ時の設定)にして撮影してください。

ちょっと一言

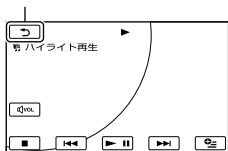
- MENU(メニュー)→[ほかの項目]→▶[再生]の[インデックス切換]→[フェイス]をタッチしてフェイスインデックスを表示することもできます。

ハイライトを再生する（ハイライト再生）

ハイビジョン(HD)画質で撮影した動画のハイライトシーンを自動的に選び、BGMや効果つきで再生します。撮影した動画をダイジェストで楽しみたいときに便利です。再生されるシーンは、ハイライト再生をするたびに異なります。気に入ったハイライト再生のシナリオを保存することができます。

MENU(メニュー)→[ほかの項目]→▶[再生]の[ハイライト再生]をタッチする。

ハイライト再生の設定内容が表示されてから、数秒後にハイライト再生が始まります。

ビジュアルインデックス画面に戻る

再生を止めるには

一時停止は［▶ ॥］をタッチする。
中止するときは［■］、または［戻る］をタッチする。

ハイライト再生の設定を変えるには

[ハイライト再生]をタッチした後、ハイライト再生が始まる前に[ハイライト再生設定]をタッチします。次の項目を設定できます。

- [再生範囲]
  ハイライト再生の再生範囲を設定します。開始日と終了日を選んで［OK］をタッチする。
  再生範囲が設定されていないときは、ビジュアルインデックスに表示されている日付から、最新の撮影日までが範囲となります。
- [テーマ]
  ハイライト再生のテーマを次から選択します。テーマによってBGMが自動的に選ばれます。
  [シンプル]、[ノスタルジック]、[スタイリッシュ]、[アクティブ]（お買い上げ時の設定）
- [BGM]
  ハイライト再生のBGMは[テーマ]に合わせて自動的に選ばれますが、以下からBGMを追加することもできます。
  [MUSIC1]～[MUSIC4]（お買い上げ時の設定）、[MUSIC5]～[MUSIC8]（お好みの音楽*）

  * BGMの追加、入れ換えについて詳しくは、39ページをご覧ください。
- [音声ミックス]
  撮影時の音声をBGMと組み合わせて再生します。［<］/［>］をタッチしてバランスを調節します。
- [シャッフル再生]
  [入]にすると、ハイライトシーンが順不同に再生されます。

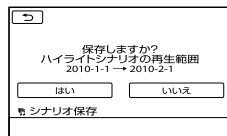
ご注意

- 一度ハイライトを再生すると、[再生範囲]は解除されます。

ちょっと一言

- ハイライトを再生中に、［オプション］（オプション）をタッチしてハイライト再生の設定をすることもできます。
- ハイライト再生の設定を変更すると、ハイライトシーンを選びなおします。
- [テーマ]を選んだ後に[BGM]で別の音声を選ぶと、次から選んだ音声が再生されます。

ハイライト再生のシナリオを保存するには

ハイライトを再生中に［オプション］（オプション）→[シナリオ保存]→[はい]をタッチします。

- 最大8個までのシナリオを保存できます。すでに8個保存されている場合は、画面に[ハイライトシナリオがいっぱいです シナリオ消去ボタンを押すとハイライトシナリオを消去できます]と表示されます。不要なシナリオを消去してください。

保存されたハイライト再生のシナリオを再生するには

MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [再生]の[シナリオ再生]をタッチし、/で再生したいシナリオを選び OK をタッチします。

ご注意

- 再生しようとしているハイライトシナリオに含まれる動画が削除または分割されている場合は、その部分を飛ばして再生します。

保存されたハイライト再生のシナリオを消去するには

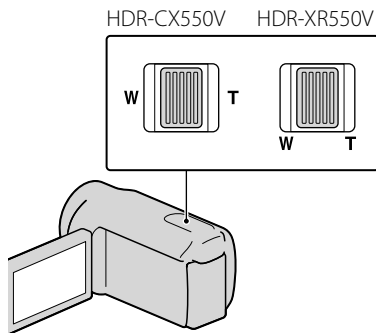
MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [編集]の[シナリオ消去]→[消去]をタッチして、/ で消去したいシナリオを選び OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

- 保存されている全てのシナリオを消去するときは、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [編集]の[シナリオ消去]→[全消去]→[はい]→[はい]→ OK → ✕ をタッチする。
- ハイライトシナリオ再生中やシナリオの選択画面で （オプション）をタッチしてもシナリオを消去できます。

BGMファイルを追加したり、入れ換えたりするには

- お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲（BGMファイル）を本機に転送し、ハイライトとともに再生できます。BGMファイルの転送は、付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールする必要があります。本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。接続したら、本機の画面上の[BGMダウンロード]をタッチします。（[USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [その他の機能]の[BGMツール]→[BGMダウンロード]をタッチします。）
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [その他の機能]の[BGMツール]→[BGMデータ消去]を行ってから、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。[BGMデータ消去]をすると、本機にあらかじめ収録されているBGMデータも消去されます。「PMB」と同時にインストールされるソフトウェア「Music Transfer」を使って復元できます。「Music Transfer」は、[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBランチャー]→[書き出す]→[Music Transfer]をクリックして起動します。操作方法は、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

静止画を再生ズームする

静止画を1.1 ～ 5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーで調整します。

1 拡大したい静止画を表示する。

2 T（望遠）で静止画を拡大する。

画面に枠が表示されます。

3 画面中央に表示したい部分をタッチする。

タッチした部分が画面中央に移動します。

4 W(広角)/T(望遠)で静止画の大きさを調節する。

終了するには、[戻る] をタッチします。

静止画を連続再生する(スライドショー)

静止画再生画面で、[スライドショー] をタッチする。

選んだ静止画からスライドショーが始まります。

中止するには

[スライドショー] をタッチする。

再開するには

もう一度 [スライドショー] をタッチする。

ご注意

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言

- 静止画再生中に、オプション→[再生]タブ →[スライドショー設定]で、スライドショーの繰り返し再生を設定できます(お買い上げ時は[入])。

テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画質(ハイビジョン(HD)/標準(STD))が異なります。

[テレビ接続ガイド]を使ってつなぐ

メニューの[テレビ接続ガイド]が、お使いのテレビにあった接続方法を教えてくれます。ここではハイビジョンテレビの例を説明します。

1 テレビの入力設定を切り換える。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源を入れ、液晶画面で MENU(メニュー)→[ほかの項目]→ [その他の機能]の[テレビ接続ガイド]をタッチする。

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとってください(14ページ)。

3 [ハイビジョンテレビ]をタッチする。

4 ＜/＞でテレビについている端子を選び、 OK をタッチする。

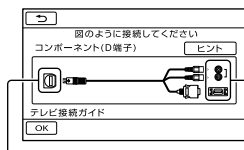
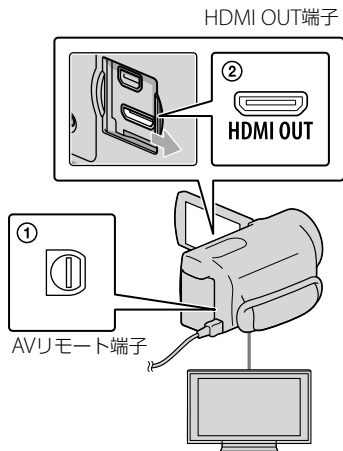
- 接続方法が表示されます。
- [ヒント]をタッチすると、接続のヒントを確認したり、本機の設定を変更したりできます。

5 本機をテレビにつなぐ。

HDMI OUT端子

② HDMI OUT

①

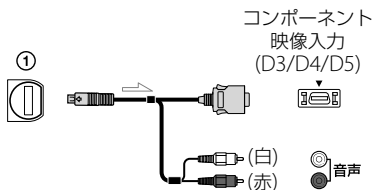
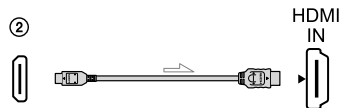
AVリモート端子

6 OK →[はい]をタッチする。

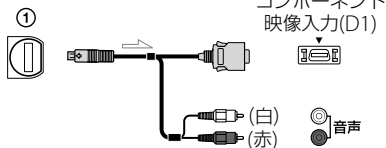
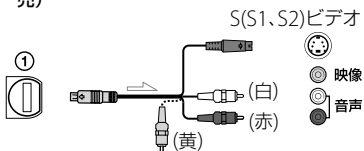
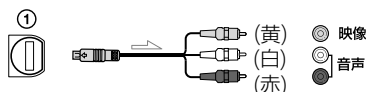
- A/V接続ケーブルを使って接続すると、出力される画質は標準画質(STD)になります。

7 本機で動画、静止画を再生する(33ページ)。

本機とテレビを接続するケーブルの種類

A ハイビジョンテレビとの接続ケーブル

D端子A/Vケーブル(付属)

HDMIケーブル(別売)

B ハイビジョン非対応テレビとの接続ケーブル

D端子A/Vケーブル(付属)

S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル(別売)

A/V接続ケーブル(付属)

ビデオ経由でテレビにつなぐには

- ビデオの入力端子によって接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

ハイビジョン非対応のテレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の横縦比を変えるには

- お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[TVタイプ]を[16:9]または[4:3]に設定してください(99ページ)。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

- A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

D端子A/Vケーブル接続のときは

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。

HDMIケーブル接続のときは

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- 本機側はHDMIミニコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。

- 接続先の機器が5.1chサラウンドに対応している場合、5.1ch音声で記録したハイビジョン画質（HD）の動画は、自動的に5.1ch音声で出力されます。標準画質（STD）の動画は、2ch音声に変換して出力されます。

S映像ケーブル付きA/V接続ケーブル接続のときは

- S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するには白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

ご注意

- 標準画質（STD）で記録して、ワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［撮影設定］の［その他撮影設定］→ ワイド切換］→［4:3］→ OK → ↩ → ✕ をタッチして、4:3で撮影してください（92ページ）。

ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、テレビの入力がHDMI→コンポーネント→S（S1、S2）映像→映像端子の順で優先されます。
- HDMI（High Definition Multimedia Interface）とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

ブラビアリンクを使う

本機とブラビアリンク対応のテレビ*をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンを使用して操作できます。
テレビのリモコンのリンクメニューボタンから本機の操作メニューを開き、上/下/左/右/決定ボタンで、ビジュアルインデックスなどのインデックス画面を表示してお好みの動画/静止画を再生できます。

*2008年以降に発売された、ブラビアリンク対応のテレビで使用できます。

ご注意

- リモコンでは一部の操作が行えないことがあります。
- 本機を設定するには、MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［一般設定］の［その他一般設定］→［HDMI機器制御］→［入］（お買い上げ時の設定）→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。
- テレビ側の設定も必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- リンクメニューの操作はお使いのブラビアによって異なります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

- テレビの電源を切ると、本機も連動して電源が切れます。

“ブラビア プレミアムフォト”について

本機は“ブラビア プレミアムフォト”に対応しています。“ブラビア プレミアムフォト”とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。“ブラビア プレミアムフォト”に対応したソニー製テレビと本機を、HDMIケーブル*またはD端子A/Vケーブル**で接続すると、今までになかった感動のFull HD高画質で写真をお楽しみいただけます。

* 静止画表示時にテレビの設定が自動的に切り替わります。

** テレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分の記録メディアの容量を元に戻せます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。
- メモリーカードに記録した画像の削除中はメモリーカードを抜かないでください。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください（47ページ）。
- デモンストレーション用の動画はプロテクトされています。
- 削除した動画がプレイリスト（51ページ）に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 削除した動画が保存したハイライトシナリオ（38ページ）に含まれている場合は、シナリオからも削除されます。

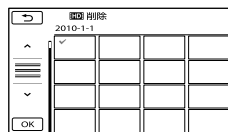
ちょっと一言

- 画像の再生画面の ［オプション］（オプション）からも削除できます。
- 記録メディアに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（97ページ）。
- インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

1 MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［編集］の［削除］をタッチする。

2 動画を削除するときは［削除］→［HD 削除］/［STD 削除］をタッチする。

- 静止画を削除するときは［削除］→［削除］をタッチする。

3 削除したい動画・静止画をタッチして、✓を付ける。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

4 OK →［はい］→ OK → ✕ をタッチする。

動画・静止画をすべて削除するには

手順2で［削除］→［HD 全削除］/［STD 全削除］→［はい］→［はい］→ OK → ✕ をタッチする。

- 静止画をすべて削除するときは［削除］→［全削除］→［はい］→［はい］→ OK → ✕ をタッチする。

動画・静止画を日付ごとにまとめて削除するには

ご注意

- メモリーカードに記録した静止画を日付指定削除することはできません。

① 手順2で［削除］→［HD 日付指定削除］/［STD 日付指定削除］をタッチする。

- 静止画を日付ごとにまとめて削除するときは[■ 削除]→[■ 日付指定削除]をタッチする。

② [⌃]/[⌄] をタッチして、削除したい動画・静止画の撮影日を選んで、[OK] をタッチする。
  - サムネイルをタッチするとプレビューできます。[↩] で選択画面に戻ります。

③ [はい]→ [OK] → [×] をタッチする。

記録した画像を保護する(プロテクト)

誤って動画・静止画を削除してしまうことを防げます。

ちょっと一言

- 動画・静止画の再生画面の [オプション] (オプション)からもプロテクトできます。

1 MENU(メニュー)→ [ほかの項目] → [編集]の[プロテクト]をタッチする。

2 動画をプロテクトするときは[プロテクト]→[HD プロテクト]/[STD プロテクト]をタッチする。

- 静止画をプロテクトするときは[■ プロテクト]→[■ プロテクト]をタッチする。

3 プロテクトする動画・静止画をタッチする。

画像にマークがつく。

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。[↩] で選択画面に戻ります。

4 [OK] →[はい]→ [OK] → [×] をタッチする。

プロテクトを解除するには

手順3で🔑マークがついている動画・静止画をタッチする。

🔑マークが消えます。

撮影した日付ごとにまとめてプロテクトするには

ご注意

- メモリーカードに記録した静止画を日付指定プロテクトすることはできません。

① 手順2で[プロテクト]→[HD 日付プロテクト]/[STD 日付プロテクト]をタッチする。

- 静止画を日付ごとにまとめてプロテクトするときは[■ プロテクト]→[■ 日付プロテクト]をタッチする。

② ⌃/⌄ をタッチして、プロテクトしたい動画・静止画の撮影日を選んで、OK をタッチする。

- サムネイルをタッチすると、プレビューできます。↩ で選択画面に戻ります。

③ [プロテクト]→ OK → ✕ をタッチする。

撮影した日付ごとにプロテクトを解除するには

手順②でプロテクトを解除したい動画・静止画の撮影日を選んで、OK →[プロテクト解除]→ OK → ✕ をタッチする。

動画を分割する

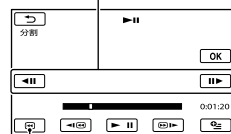
1 **MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[編集]の[分割]をタッチする。**

2 **分割したい動画をタッチする。**

選んだ動画が再生されます。

3 **分割したいところで ▶II をタッチする。**

再生が一時停止します。▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

▶II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

4 **OK →[はい]→ OK をタッチする。**

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- プロテクトされた動画は分割できません。分割するにはプロテクトを解除してください(46ページ)。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、メモリーカードに記録された動画の分割中はメモリーカードを抜かないでください。

- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、►II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。
- 分割した動画が保存したハイライトシナリオ（38ページ）に含まれている場合は、シナリオから削除されます。
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、付属のソフトウェア「PMB」をお使いください。

ちょっと一言

- 動画の再生画面の (オプション)からも分割できます。

動画から静止画を作る

1

MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［編集］の［動画から静止画作成］をタッチする。

［動画から静止画作成］画面が表示されます。

2

静止画を切り出したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

3

静止画にしたい場面で ►II をタッチする。

再生が一時停止します。►II を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

►II で場面を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

4

OK をタッチする。

静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

- ［静止画メディア設定］（19ページ）で設定されている記録メディアに記録されます。
- 続けて静止画を作成するには、►II をタッチしてから、手順3以降を行う。
- 別の動画を選ぶには、 をタッチして手順2から行う。

5 [↩] → [×] をタッチする。

ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - ハイビジョン画質(HD)のときは [2.1M]
  - 標準画質(STD)でワイド(16：9)のときは [0.2M]
  - 標準画質(STD)で4：3のときは [VGA(0.3M)]
- 静止画を記録する記録メディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

内蔵記録メディアからメモリーカードに動画・静止画をダビング・コピーする

動画をダビングする

本機の内蔵記録メディアに撮影した動画を、メモリーカードにダビングできます。
メモリーカードを本機に入れておいてください。

ご注意

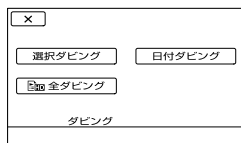
- 初めてメモリーカードに動画を記録するときは、MENU(メニュー) → [ほかの項目] → [メディア管理]の[管理ファイル修復] →[メモリーカード]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

ちょっと一言

- ダビングしても、元の動画は削除されません。
- プレイリストをダビングすると、含まれる全画像がダビングされます。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

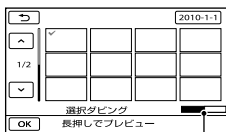
1 MENU(メニュー) → [ほかの項目] → [編集]の[動画ダビング]をタッチする。

[動画ダビング]画面が表示されます。

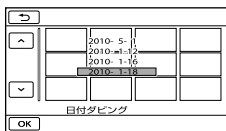
使いこなす

2 **ダビングの種類をタッチする。**

[選択ダビング]:動画を選んでダビングする。
[日付ダビング]:動画を指定した日付ごとダビングする。
[HD 全ダビング]:ハイビジョン画質(HD)のプレイリストをダビングする。
[STD 全ダビング]:標準画質(STD)のプレイリストをダビングする。
ダビング元にプレイリストを選んだときは、画面の指示に従って操作してください。

3 **ダビングする動画を選ぶ。**

[選択ダビング]:ダビングする動画をタッチして、✔マークをつける。
複数選択できます。

メモリーカードの残量の目安

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 で選択画面に戻ります。

[日付ダビング]:ダビングする日付を選んで、OK をタッチする。
複数の日付は選べません。

4 **OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。**

ちょっと一言

- ダビングができているかを確認するには、[動画メディア設定]で[メモリーカード]を設定して確認してください(19ページ)。

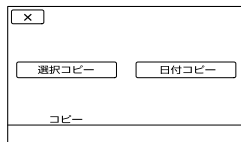
静止画をコピーする

本機の内蔵記録メディアに保存した静止画をメモリーカードにコピーします。
コピー先のメモリーカードを本機に入れておいてください。

ご注意

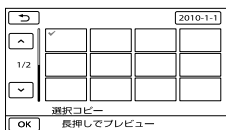
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

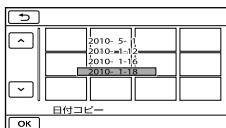
1 **MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[編集]の[静止画コピー]をタッチする。**

[静止画コピー]画面が表示されます。

2 **コピーの種類をタッチする。**

[選択コピー]:静止画を選んでコピーする。
[日付コピー]:指定した日付の静止画をまとめてコピーする。

3 コピーする静止画を選ぶ。

[選択コピー]：コピーする静止画をタッチして、✔マークをつける。
複数選択できます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。

[日付コピー]：コピーする日付を選んで、OKをタッチする。
複数の日付は選べません。

4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

ちょっと一言

- コピーができているかを確認するには、[静止画メディア設定]で[メモリーカード]を設定して確認してください(19ページ)。

動画のプレイリストを使う

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。

プレイリストを作る

ご注意

- ハイビジョン画質(HD)の動画と標準画質(STD)の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

1 MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[編集]の[プレイリスト編集]をタッチする。

2 [HD 追加]/[STD 追加]をタッチする。

3 追加したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。

4 OK →[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

使いこなす

動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

① 手順2で[HD 日付指定追加]/[STD 日付指定追加]をタッチする。
日付選択画面が表示されます。

② ⌃/⌄ をタッチして、追加したい動画の撮影日を選んで、OK をタッチする。
- サムネイルをタッチするとプレビューできます。⮌ で選択画面に戻ります。

③ [はい] → OK → ✕ をタッチする。

ご注意

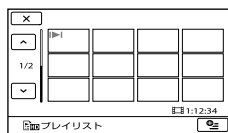
- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。記録メディアが壊れるおそれがあります。また、メモリーカードに記録された動画の追加中はメモリーカードを抜かないでください。
- 静止画はプレイリストに追加できません。
- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(STD)が混在したプレイリストは作成できません。

ちょっと一言

- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(STD)で99個までの動画を追加できます。
- 動画の再生画面やプレイリスト画面から、(オプション)をタッチして追加することもできます。

プレイリストを再生する

1 MENU(メニュー)→ [ほかの項目] → [再生]の[プレイリスト]をタッチする。

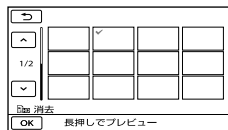
プレイリストに追加された動画が表示されます。

2 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① MENU(メニュー)→ [ほかの項目] → [編集]の[プレイリスト編集]をタッチする。

② [HD 消去]/[STD 消去]をタッチする。
すべての動画を一括して消去するには、[HD 全消去]/[STD 全消去] →[はい]→[はい]→ OK → ✕ をタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。

④ OK →［はい］→ OK → ✕ をタッチする。

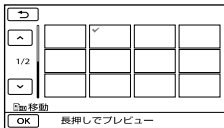
ちょっと一言

- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。

追加した動画を並べ換えるには

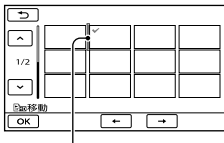
① MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ ［編集］の［プレイリスト編集］をタッチする。

② ［HD 移動］/［STD 移動］をタッチする。

③ 移動させたい動画をタッチする。

選んだ動画に ✔ が表示されます。

- サムネイルを長押しするとプレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。

④ OK をタッチする。

⑤ ←/→ で移動先を選ぶ。

移動先表示

⑥ OK →［はい］→ OK → ✕ をタッチする。

ちょっと一言

- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

GPS機能を使う

GPSとは

GPS(Global Positioning System)は、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。本機では、この電波を受信して位置情報の取得を行います。

本機では、GPS機能を利用して次のようなことができます。

– 現在地表示
  現在地を地図上で表示して、自分がどこにいるかを確認できます。
– 地図インデックス
  地図上から撮影した地点の画像を探して見ることができます。
– 緯度経度データ表示
  再生画面上に緯度経度データを表示します。
– 自動時刻補正・自動エリア補正
  自動で時刻や、エリアの補正が行われます。

本機ではじめて次の操作をすると、地図データの使用許諾に同意するかを確認するメッセージが表示されます。

– 撮影画面で （現在地表示）をタッチする
– 再生画面で → ［地図］をタッチする

地図データのご利用には本機に同梱の地図データ使用許諾契約書に同意の上で、画面上の［はい］をタッチしてください。この場合、2回目以降は確認メッセージは表示されません。

［いいえ］をタッチした場合は地図データを使用できませんが、次回上記の操作をした場合に同じメッセージが画面に表示されますので、［はい］をタッチして地図

使いこなす

データを使用することができます。

GPS機能を設定する

GPSスイッチを「ON」にすると、[icon]が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画・静止画の撮影時に位置情報を記録します。

ご注意

- 屋外でご使用ください。屋内や周辺に高い建物や樹木などがある場所では、電波をうまく受信できません。
- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSスイッチが「OFF」になっている、またはエラーが起きている。
測位不可	[icon]	GPS信号を受信できないため、位置情報が取れない。 空の開けた場所に移動して、GPSスイッチを入れなおしてください。
衛星探索中	[icon]	衛星を探索中。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中	[icon]	GPS信号を受信中。位置情報を取得できる。
測位中	[icon]	強いGPS信号を受信中。位置情報を取得できる。

- お買い上げ時はGPSスイッチが「ON」になっています。撮影した動画・静止画には位置情報が記録されます。位置情報を取得できなかった場合は、前回取得した位置情報を記録します。位置情報を記録しない場合は、GPSスイッチを「OFF」にしてください。
- 本機の電源が入っていなくても、GPSスイッチが「ON」になっていると、GPSは動作しています。飛行機の離着陸時は、GPSスイッチを「OFF」にしてください。
- [icon]の右下の点は、GPS信号の量を表しています。点が3つまで進まないときは信号が不安定で測位しにくい環境です。そのまま撮影を始めるか、周囲の開けた、点が3つまで表示される場所へ移動してください。
- 測位できない状態が数分間続くと、本機は衛星探索を中止して[icon]を表示します。もう一度衛星探索させるには、GPSスイッチを一度「OFF」にして「ON」にするか、本機の電源を入れなおしてください。
- 付属のソフトウェア「PMB」でGPSアシストデータを本機に取り込むと、位置情報を取得するまでの時間を短くできます。「PMB」をパソコンにインストールし（59ページ）、インターネットに接続された状態で本機とつないでください。自動的にGPSアシストデータが更新されます。
- 次のときは、GPSアシストデータが働かないことがあります。
  - GPSアシストデータを約30日以上更新していないとき
  - 本機の日時あわせを正しく設定していないとき
  - 長距離を移動したとき

現在地情報を取得する

現在地を地図上で表示できます。
あらかじめGPSスイッチを「ON」にして、位置情報を取得できる状態にしてください。

撮影画面で、[icon](現在地表示)をタッチする。

現在地が画面中央に表示され、マーカーが表示されます。
画面上の任意の位置をタッチすると、タッチした位置を中心に地図が表示されます。
画面左下に表示される[icon](現在地)をタッチすると現在地中心の地図に変わります。

終了するには

[×]をタッチする。

ご注意

- 地図は常に北を上に表示します。

ちょっと一言

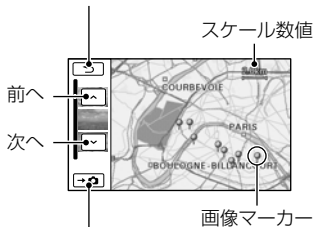
- ズームレバーで縮尺を変更できます。(W：広域、T：詳細)
- 定期的に現在地情報を取得します。取得状況によってはマーカーなどの表示が変わります。
- 現在地の地図を表示するには、GPS信号を受信できている状態で液晶画面の[icon]をタッチしてください。受信できていないときは、東京駅(お買い上げ時の設定)、または以前に取得した位置の地図が表示されます。
- 地図上の任意の位置を長押しすると、連続スクロールします。
- MENU(メニュー)→［ほかの項目］→[icon]［その他の機能］の［[icon]現在地表示］をタッチして現在地を表示することもできます。

撮影位置から見たい場面を探す(地図インデックス)

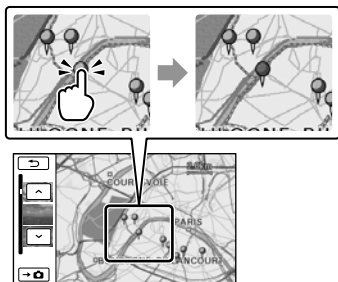
動画・静止画を撮影した位置を地図上にマーカーで表示して、撮影場所から探すことができます。

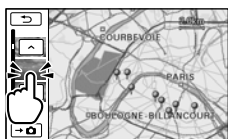
- GPSスイッチを「ON」にして撮影し、位置情報が記録された動画・静止画のみ、地図インデックスに表示されます。
- メモリーカードの静止画は地図インデックスに表示されません。

1 [icon](画像再生)ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 [icon]→［[icon]地図］をタッチする。

- ズームレバーを使って地図の縮尺を変更できます(W側：広域、T側：詳細)。
- 地図上の任意の位置をタッチすると、そのタッチした位置が地図の中心に来るように自動的にスクロールします。また、任意の位置を長押しすると、連続スクロールを行います。
- 位置情報を記録していない画像は、サムネイルの右上に[icon]が表示されます。

3 再生したい動画・静止画を撮影した地点の画像マーカーをタッチする。

画像マーカーが赤くなります。選んだ地点で撮影した動画・静止画が画面左に表示されます。

4 動画・静止画のサムネイルをタッチする。

選んだ場面から再生が始まります。

ご注意

- 地図は常に北を上に表示します。
- 同じ位置で複数の画像を撮影した場合は、最後に撮影した画像が表示されます。

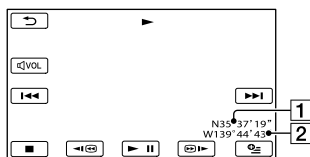
ちょっと一言

- MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[再生]の[インデックス切換]→[地図]をタッチして、地図インデックスを表示することもできます。

- 手順3で[∧]/[∨]をタッチして、再生したい動画・静止画を選ぶこともできます。選んだ画像の撮影地が地図の中心に来ます。

緯度経度データを表示する

撮影した画像には、緯度経度データが記録され、再生時に表示できます。

MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[再生]の[再生設定]→[日時/データ表示]→[緯度経度データ]→[OK]→[戻る]→[×]をタッチする。

1 緯度
2 経度

自動で時刻やエリアを補正する

GPSを利用して時刻情報やエリア情報を取得し、正確な時刻を維持することや、時差補正を行うことができます。

1 MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[一般設定]の[時計設定]→[自動時刻補正]/[自動エリア補正]をタッチする。

2 好みの設定をタッチして、OK → ↩ → × をタッチする。

ご注意

- あらかじめ日時合わせ（17ページ）をしておく必要があります。
- ［自動時刻補正］は、数秒の誤差が生じることがあります。
- ［自動時刻補正］は、本機の起動中にGPS信号を受信し、電源をOFFにした際に自動で補正されます。電源を切るまでは補正されません。また、GPSスイッチをONにしていても、一度もGPS信号を受信できなかった場合も補正されません。
- ［自動エリア補正］は、時差を検出した場合に自動で時差補正を行います。
- 地域によっては、［自動時刻補正］や［自動エリア補正］が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を［切］にしてください。

パソコンの準備をする

(Windows)

「PMB(Picture Motion Browser)」を使うと次の操作を楽しむことができます。
- パソコンへの画像取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧、編集
- ディスクの作成
- 動画・静止画をWebにアップロード

パソコンで動画・静止画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROMから「PMB」をインストールします。
詳しくは、PMBサポートページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/pmb-sj/

ご注意

- パソコンから本機の記録メディアをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、「PMB」を使用して作成したAVCHDディスクを入れないでください。ディスクを取り出せなくなることがあります。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS *[1]
Microsoft Windows XP SP3 *[2]/Windows Vista SP2/Windows 7

CPU *[3]
Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上(HD FX/HD FHの動画を扱うときは、Intel Core 2 Duo 2.26GHz以上) ただし、以下の場合については、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 - 動画・静止画のパソコンへの取り込み - ワンタッチディスク - ブルーレイディスク・AVCHDディスク・DVDビデオ作成(ただし、ハイビジョン画質(HD)から標準画質(STD)に変換してDVDビデオ作成する場合は、Intel Core Duo 1.66GHz以上が必要になります。) - ディスクのコピー - 標準画質(STD)の動画のみ扱う場合
ソフトウェア
DirectX 9.0c以降 (DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用になるにはDirectXがインストールされている必要があります。)
メモリー
Windows XP:512MB以上(1GB以上を推奨) ただし、標準画質(STD)の動画のみを扱う場合は、256MB以上で可能です。 Windows Vista/Windows 7:1GB以上
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量: 約500MB(AVCHDディスクを作成する場合には、10GB以上必要になる場合もあります。ブルーレイディスク作成時には、最大でおよそ50GB必要になる場合があります。)
ディスプレイ
解像度1,024×768ドット以上
その他
USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠))、ブルーレイディスク/DVD作成が可能なディスクドライブ(インストールには CD-ROMドライブが必要) ハードディスクのファイルシステムは、NTFSまたはexFATを推奨します。

*[1] 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

*2 64bit版を除きます。ディスク作成機能などを使用するには、Windows Image Mastering API(IMAPI) Ver.2.0以上が必要です。
*3 より高速なCPUを推奨します。

ご注意

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「PMB」はMacintoshに対応していません。画像を取り込む方法などについては、"ハンディカム"のサポート情報(裏表紙)をご覧ください。

準備2 付属ソフトウェア「PMB」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「PMB」をインストールします。

ご注意

- お使いのパソコンに、すでにバージョン5.0.00未満の「PMB」がインストールされている場合は、本機付属のCD-ROMから「PMB」をインストールすると、一部ご使用いただけなくなる機能があります。また、あわせてインストールされる「PMBランチャー」から「PMB」や他の様々なソフトウェアを起動できるようになります。「PMBランチャー」の起動にはデスクトップにある「PMBランチャー」のショートカットアイコンをダブルクリックします。

1 パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピュータの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYPMB(E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

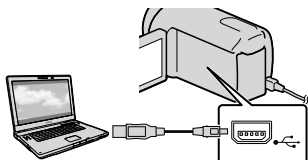
* ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

5 国または地域を選ぶ。

6 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

7 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は ○ を ◉ に変え、[次へ] →[インストール]をクリックする。

8 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ。

本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

9 パソコンに本機を認識させるため、本機の画面に表示されたメディアをタッチする。

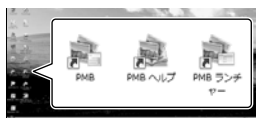
HDR-CX550V：
[USB接続](内蔵メモリー)
HDR-XR550V：
[USB接続](内蔵ハードディスク)

- 記録メディアはお使いの機種によって異なります。
- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU (メニュー)→[ほかの項目]→ [その他の機能]の[USB接続]をタッチする。

10 パソコンで[続行]をクリックする。

11 パソコンの画面の指示に従ってインストールする。

- 「PMB」のインストール中に本機を接続させる必要があります。
- ソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、デスクトップにアイコンが表示されます。パソコンからCD-ROMを取り出してください。

：「PMB」を起動します。
：「PMBヘルプ」を表示します。
：「PMBランチャー」を表示します。
PMBランチャーを使うと、目的に合わせてPMBや他の様々なソフトウェアを起動したり、ウェブサイトを表示したりできます。

- 上記以外のアイコンが表示されることがあります。
- インストール方法によって、アイコンが表示されないことがあります。

ご注意

- Windows XPでディスク作成などの機能を使用するにはWindows XP用Image Mastering API v2.0のインストールが必要です。インストールされていない場合は、インストール画面の必要なソフトウェアから、表示される手順に従ってインストールしてください。また、該当機能の起動時にメッセージが表示されますので、それに従ってインストールすることも可能です。インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。

「PMB(Picture Motion Browser)」を起動する

本機とパソコンの接続を終了するには

① パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン →[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。

② 本機の画面で[終了] →[はい]をタッチする。

③ USBケーブルを取り外す。

ご注意

- パソコンからのアクセスは、付属の「PMB」を使用してください。パソコンから直接本機のファイルやフォルダーを操作した場合、画像ファイルが壊れたり、再生できなくなったりすることがあります。
- 長時間撮影した画像や編集した画像を取り込む場合は、付属の「PMB」を使ってください。それ以外のソフトを使うと正しく取り込めない場合があります。
- パソコンから本機の記録メディア上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、45ページの手順で行ってください。パソコンから本機の記録メディア内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機の記録メディアにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 書き込み可能なブルーレイディスクドライブをお持ちの場合は、ブルーレイディスクを作成できます。BD アドオン ソフトウェアのインストール方法は67ページをご覧ください。

デスクトップの「PMB」のショートカットをダブルクリックします。

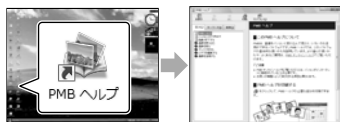
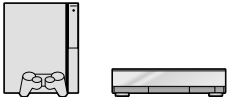
ご注意

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート] →[すべてのプログラム] →[PMB]の順にクリックして起動してください。

「PMB」を使って、動画・静止画の閲覧、編集、ディスク作成などができます。

「PMBヘルプ」を見る

「PMB」の使いかたを調べるには、「PMBヘルプ」をご覧ください。デスクトップの「PMBヘルプ」のショートカットをダブルクリックすると開きます。

ご注意

- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート] →[すべてのプログラム]→[PMB] →[PMBヘルプ]の順にクリックしてください。「PMB」のヘルプメニューからも開けます。

ディスクの作りかたを選ぶ（パソコン）

ハイビジョン画質（HD）で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

再生機器	作りかたとディスクの種類	
ブルーレイディスク再生機器 （ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	① パソコンに保存する（65ページ）。 ↓ ② ハイビジョン画質（HD）のブルーレイディスク*を作るには（67ページ）。	Blu-ray
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	ワンタッチでディスクを作る（ワンタッチディスク）（64ページ）。	AVCHD
	① パソコンに保存する（65ページ）。 ↓ ② AVCHDディスクを作る（66ページ）。	AVCHD
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	① パソコンに保存する（65ページ）。 ↓ ② 標準画質（STD）のディスクを作る（67ページ）。	STD

* ブルーレイディスクを作成するには、BD アドオン ソフトウェアをインストールする必要があります（67ページ）。

ディスクの説明

Blu-ray ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質（HD）の動画をDVDディスクに比べ長時間記録できます。

AVCHD ハイビジョン画質（HD）の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。ハイビジョン画質のディスクは、ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など、AVCHD規格対応再生機器で再生できます。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。

STD ハイビジョン画質（HD）の動画を標準画質（STD）に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

「PMB」で使えるディスクの種類

「PMB」では以下の12cmのディスクを使えます。ブルーレイディスクについては、67ページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
DVD-R / DVD+R / DVD+R DL	書き換えできません。
DVD-RW / DVD+RW	書き換えて再利用できます。

ご注意

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/

ワンタッチでディスクを作る
（ワンタッチディスク）

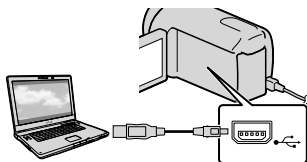
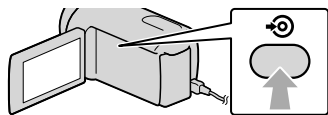
本機で撮影した動画・静止画のうち、まだワンタッチディスク機能を使ってディスクに保存していない動画・静止画を自動的に選んで保存します。画質は撮影したときの画質で保存されます。

ご注意

- ハイビジョン画質（HD）（お買い上げ時の設定）で撮影した動画の場合は、AVCHDディスクが作成されます。
- [録画モード]を[HD FX]にして撮影した動画から、AVCHDディスクは作成できません。
- ワンタッチディスクで、ブルーレイディスク作成はできません。
- ハイビジョン画質（HD）の動画から標準画質（STD）のディスクを作成する場合は、いったん動画をパソコンに保存して（65ページ）から、標準画質（STD）のディスクを作成（67ページ）してください。
- あらかじめ「PMB」をインストールしてください（59ページ）。ただし、「PMB」は起動しないでください。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（16ページ）。
- 本機のワンタッチディスク機能では、内蔵記録メディアに記録された動画・静止画のみ保存できます。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は62ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ。

3 （ワンタッチディスク）ボタンを押す。

4 パソコンの画面の指示に従って操作する。

ご注意

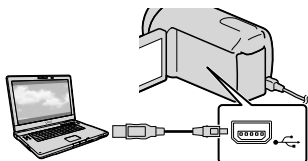
- ワンタッチディスクでは、パソコンに動画・静止画は保存されません。

パソコンに保存する

本機で撮影した動画・静止画をパソコンに取り込みます。パソコンの電源は入れておきます。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（16ページ）。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機とパソコンをつなぐ。

本機の液晶画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

2 本機の液晶画面で、取り込みたい画像の記録メディアを選んでタッチする。

[USB接続]：内蔵メモリー
[USB接続]：内蔵ハードディスク
[USB接続]：メモリーカード

- 記録メディアはお使いの機種により異なります。
- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→ [その他の機能]の[USB接続]をタッチする。

パソコンの画面に取り込み画面が表示されます。

3 [取り込み開始]をクリックする。

- 詳しくは、「PMBヘルプ」（61ページ）をご覧ください。

取り込みが始まります。
取り込みが完了すると、「PMB」画面が表示されます。

ちょっと一言

- パソコンに取り込んだハイビジョン画質（HD）の動画は、パソコンから本機に書き戻せます。詳しくは、「PMBヘルプ」（61ページ）をご覧ください。

AVCHDディスクを作る

パソコンに取り込んだ（65ページ）ハイビジョン画質（HD）の動画を選んで、AVCHDディスクを作ります。
ここではDVDディスクにハイビジョン画質（HD）の動画を記録します。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は63ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 「PMB」を起動する（61ページ）。

3 画面左の［カレンダー］または［インデックス］をクリックして日付やフォルダーを選び、書き込むハイビジョン画質（HD）の動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質（HD）の動画にはHDアイコンが付いています。
- 静止画はディスクに保存できません。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画を選べます。

4 画面上部の（ディスク作成）→［AVCHD(HD)作成］をクリックする。

動画の選択画面が表示されます。

- 動画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画を選び、動画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

AVCHDディスクをパソコンで再生するには

「PMB」と同時にインストールされる「Player for AVCHD」を使って再生できます。
起動するには、［スタート］→［すべてのプログラム］→［PMB］→［PMBランチャー］→［見る］→［Player for AVCHD］の順にクリックします。操作方法は「Player for AVCHD」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- パソコンの環境によっては、動画がなめらかに再生できないことがあります。

ブルーレイディスクを作るには

パソコンに取り込んだ(65ページ)ハイビジョン画質(HD)の動画から、ブルーレイディスクを作成できます。
作成するにはBD アドオンソフトウェアをインストールする必要があります。
「PMB」のインストール画面で[BDアドオンソフトウェア]をクリックし、画面の指示に従って、インストールしてください。

- インストールには、お使いのパソコンをインターネットに接続する必要があります。

「AVCHDディスクを作る」(66ページ)の手順1で、ディスクドライブに未使用のブルーレイディスクを入れ、手順4で (ディスク作成)→[Blu-ray Disc(HD)作成]をクリックします。他の操作手順は同じです。

ご注意

- お使いのパソコンが、ブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
- ディスクは、BD-R(書き換え不可)、BD-RE(書き換え可)が使えます。追加記録はできません。

標準画質(STD)のディスクを作る

パソコンに取り込んだ(65ページ)動画を選んで、標準画質(STD)のディスクを作ります。

ご注意

- 素材としてハイビジョン画質(HD)の動画を選べますが、その場合は、標準画質(STD)に変換するために記録時間以上の時間がかかります。

1 パソコンの電源を入れ、DVDドライブに未使用のディスクを入れる。

- 使用できるディスクの種類は63ページをご覧ください。
- 「PMB」以外のソフトウェアが自動で起動した場合は終了してください。

2 「PMB」を起動する(61ページ)。

3 画面左の[カレンダー]または[インデックス]をクリックして日付やフォルダーを選び、書き込む動画を選ぶ。

- ハイビジョン画質(HD)の動画にはHDアイコンが付いています。
- Ctrlキーを押しながらサムネイルをクリックすると複数の動画を選べます。

4 (ディスク作成)→[DVD-Video(STD)作成]をクリックする。

動画の選択画面が表示されます。

- 動画を追加したいときは、メイン画面で追加する動画を選び、動画の選択画面にドラッグアンドドロップします。

5 画面の指示に従ってディスクを作成する。

- ディスクの作成には時間がかかることがあります。

ディスクをコピーするには

「Video Disc Copier」を使って、記録済みのディスクをコピーできます。
[スタート]→[すべてのプログラム]→[PMB]→[PMBランチャー]→[ディスク作成]→[Video Disc Copier]の順にクリックして起動します。操作方法は「Video Disc Copier」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(STD)に変換してコピーはできません。
- ブルーレイディスクはコピーできません。

動画を編集するには

動画から必要な部分を切り出して、別ファイルとして保存できます。
「PMB」のメイン画面で編集したい動画をダブルクリックし、画面右側の[編集パレットを開く] → [動画編集]をクリックするか、[活用]メニューから[編集] → [動画編集]を選択してください。詳しくは、「PMBヘルプ」(61ページ)をご覧ください。

動画から静止画を作るには

動画から静止画を切り出して、別ファイルとして保存できます。
「PMB」のメイン画面で静止画を切り出したい動画をダブルクリックし、画面右側の[編集パレットを開く] → [静止画で保存]の順にクリックします。詳しくは、「PMBヘルプ」(61ページ)をご覧ください。

外付けメディアに保存する
(ダイレクトコピー)

外付けハードディスクなどのメディアに、本機の動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

ご注意

- この操作には別売のUSBアダプターケーブルVMC-UAM1が必要です。
- 次の機器は外付けメディアとして使えません。
  - 容量が2TBを超える外付けメディア
  - 一般のDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
  - ハブを経由してつないでいる外付けメディア
  - 内部にハブを構成している外付けメディア
  - カードリーダー
- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機で初期化された外付けメディアの場合は、本機で初期化してからお使いください。初期化画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでも初期化画面が表示されることがあります。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(16ページ)。
- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 使用可能な外付けメディアについて詳しくは、"ハンディカム"のサポート情報(裏表紙)をご覧ください。

ちょっと一言

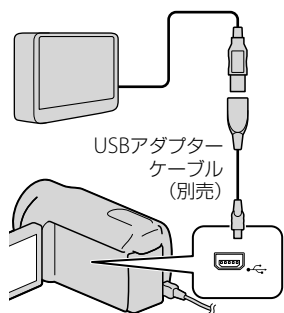
- 外付けメディアに保存した画像は付属のソフトウェア「PMB」で取り込むこともできます。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブルと外付けメディアをつなぐ。

4 USBアダプターケーブルと本機のψ(USB)端子をつなぐ。

本機に[管理ファイル新規作成]画面が表示されたら、[はい]をタッチしてください。

5 本機の液晶画面で[コピーする]をタッチする。

内蔵記録メディアで、外付けメディアに保存されていない動画・静止画が保存されます。

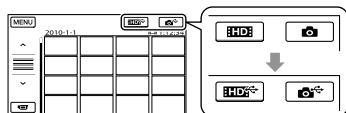
- 本機に新たに記録した画像がない場合、この画面は表示されません。

6 終了するには本機の液晶画面で OK をタッチする。

ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
  ハイビジョン画質(HD)の動画：最大3,999個
  標準画質(STD)の動画：9,999個
  静止画：9,999枚×899フォルダ
  撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。

外付けメディアと接続中は

外付けメディアに保存した画像が、本機の液晶画面に表示されます。ビジュアルインデックス画面の動画/静止画切り換えボタンが図のように変わります。

画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。ビジュアルインデックス画面で MENU (メニュー) →[ほかの項目]をタッチしてください。

好みの動画・静止画を保存するには

メモリーカードの画像を保存することもできます。

ご注意

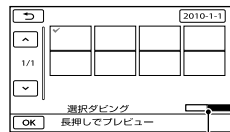
- メモリーカードに記録した静止画を、日付単位でコピーしたり探したりすることはできません。

① 手順5で[コピーしないで再生する]をタッチする。
外付けメディアのビジュアルインデックス画面が表示されます。

② MENU (メニュー) →[ほかの項目]→[動画ダビング](動画のとき)/[静止画コピー](静止画のとき)をタッチする。

③ 本機の画面にしたがって、記録メディアや画像の選択方法を選ぶ。

④ [選択ダビング]を選んだときは、保存したい画像をタッチする。
✔が表示されます。

- [日付ダビング]を選んだときは、 ⌃ / ⌄ でダビングする日付を選んで、 OK をタッチしてから、手順⑤に進んでください。

外付けメディアの残量

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。
- 日付をタッチすると、日付から画像を探せます。

⑤ 本機で OK →[はい]→ OK をタッチする。

外付けメディアの画像を本機で見るには

① 手順5で[コピーしないで再生する]をタッチする。
外付けメディアの画像がビジュアルインデックス画面で表示されます。

② 見たい画像を選んで再生する(33ページ)。
- 本機をテレビにつないで画像を楽しむこともできます(41ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)の動画は、「Player for AVCHD」を使ってパソコンで再生できます。「Player for AVCHD」を起動し(66ページ)、[設定]で外付けメディアの接続されているドライブを選んでください。

ご注意

- 静止画の日付インデックス、地図インデックスは表示できません。
- 本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
  - 本機のUSBアダプターケーブルを差し直す
  - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ

接続を終了するには

① 外付けメディアのビジュアルインデックス画面で をタッチする。

② USBアダプターケーブルを取り外す。

DVDライター、レコーダーを使ってディスクを作る

ディスクの作りかたを選ぶ

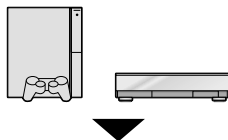
ハイビジョン画質(HD)で撮影した動画や、静止画からディスクを作成する方法を説明します。再生機器に合わせて作りかたを選びましょう。

ご注意

- ディスクの作成には、DVD-RなどのDVDディスクをご用意ください。
- ブルーレイディスク作成については67ページをご覧ください。
- 外付けメディアへの保存については69ページをご覧ください。
- 作成されるディスクの種類については62ページをご覧ください。

AVCHD規格対応機器

再生機器

- ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー
- プレイステーション 3　など

作成機器

- DVDライター DVDirect Express(72ページ)
- DVDirect Express以外のDVDライター(74ページ)
- ソニー製ブルーレイディスクレコーダー(74ページ)

作成されるディスクの種類

- AVCHDディスク(ハイビジョン画質)

他機を使って保存する

一般的なDVD機器

再生機器

- DVDプレーヤー
- DVD再生可能なパソコン　など

作成機器

- DVDライター DVDirect Express（72ページ）
- DVDirect Express以外のDVDライター（74ページ）
- ディスクレコーダー（75ページ）

作成されるディスクの種類

- 標準画質（STD）のディスク

ご注意

- 「プレイステーション 3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jp.playstation.com/ps3/update/
- ダビングやディスク作成の際には、デモンストレーション用の動画を削除してください。削除しないと正しく動作しないことがあります。ただし、削除したデモンストレーション用の動画は元に戻せません。
- AVCHDディスクは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、AVCHDディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。
- [録画モード]を[HD FX]にして撮影した動画からAVCHDディスクを作ることはできません。ブルーレイディスクまたは外付けメディアに保存してください（67、69ページ）。

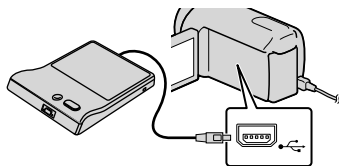
専用DVDライター DVDirect Expressでディスクを作る

別売の専用DVDライター DVDirect Express（DVDダイレクトエクスプレス）を使うと、お好みのディスクを作成したり、作成したディスクを再生したりできます。
DVDライターの取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（16ページ）。
- 次の未使用のディスクのみ使えます。
  - 12cmDVD-R
  - 12cmDVD+R
- 2層ディスクには対応していません。
- このセクションでは、DVDirect Expressを「DVDライター」と表現します。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ（16ページ）。

2 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機の（USB）端子につなぐ。

3 **DVDライターに未使用のディスクを入れて、ディスクトレイを閉じる。**

本機に[ワンタッチディスク]画面が表示されます。

4 **DVDライターの ⊛(ワンタッチディスク)ボタンを押す。**

内蔵記録メディアに記録した動画のうち、ディスクに保存されていない動画がディスクに書き込まれます。

- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(STD)両方の保存していない動画がある場合は、それぞれ別のディスクに保存されます。

5 **1枚のディスクにおさまらないときは、手順3、4を繰り返す。**

6 **終了するには、本機の液晶画面で OK → [終了] → [ディスクを取り出す]をタッチしてディスクを取り出す。**

7 **OK をタッチしてから、USBケーブルを取り外す。**

こだわりダビングをするには

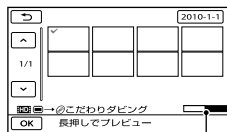
次の場合はこの操作を行ってください。

- 好みの画像を選んでダビングする
- 同じディスクを複数作成する
- ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(STD)に変換してディスクを作成する
- メモリーカードの画像をダビングする

① 手順4で[こだわりダビング]をタッチする。

② 動画の記録メディアを選ぶ。
ハイビジョン画質(HD)の動画を選んだ場合は、作成されるディスクの画質を選ぶ画面が本機に表示されます。
希望の画質を選び OK をタッチしてください。

- ハイビジョン画質(HD)の画像を標準画質(STD)に変換してディスクを作成する場合、選んだ画像の録画時間によって、作成されるディスクの画質が変わります。

③ ディスクに書き込みたい動画をタッチする。
✔が表示されます。

ディスク残量

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。 ⮌ で選択画面に戻ります。
- 日付をタッチすると、日付から画像を探せます。

④ 本機で OK → [はい]をタッチする。

- もう一枚同じディスクを作るときには、新しいディスクを入れてから、[同じディスクを作成する]をタッチしてください。

⑤ 終了するには、本機で[機能を終了する] → [終了]をタッチする。

⑥ USBケーブルを本機から取り外す。

ご注意

- ディスク作成中は、次の操作をしないでください。
  - 本機の電源を切る
  - USBケーブルやACアダプターを抜く
  - 本機やDVDライターに振動を与える
  - メモリーカードを本機から取り外す
- 本機の画像を削除する前に、作成したディスクを再生してダビングが正しく行われたかを確認してください。
- [失敗しました]または[ワンタッチディスクに失敗しました]と本機に表示されたときは、ディスクを入れ換えて、もう一度やり直してください。

ちょっと一言

- ワンタッチディスク操作で動画が一枚のディスクに収まらないときは、それぞれのディスクの最後の動画が自動的に分割され、ディスクの容量いっぱいまで保存されます。
- 1枚のディスクに容量いっぱいまでダビングするときの作成時間は、約20 ～ 60分です。シーン数や録画モードによっては、それ以上かかる場合もあります。また、ハイビジョン画質(HD)から標準画質(STD)に変換してディスク作成するときは、実際の動画の録画時間以上に時間がかかります。

DVDライターでディスクを再生するには

① ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(16ページ)。

② 本機の電源を入れ、DVDライターのUSBケーブルを本機のψ(USB)端子につなぐ。

- テレビの画面で動画を楽しむには、本機をテレビにつないでください(41ページ)。

③ 作成したディスクをDVDライターに入れる。
本機の液晶画面にディスク内の動画がビジュアルインデックスとして表示されます。

④ DVDライターの再生ボタンを押す。
- 本機の液晶画面で操作することもできます。

⑤ 再生が終わったら、本機の液晶画面で[終了] → [ディスクを取り出す]をタッチして、ディスクを取り出す。

⑥ OK をタッチし、USBケーブルを取り外す。

一般的なDVDプレーヤーでディスクを再生するには

「こだわりダビングをするには」の手順②で、作成するディスクの画質は標準画質(STD)を選んでください。

ちょっと一言

- 作成した標準画質(STD)のディスクが他機で再生できない場合は、DVDライターと本機をつないで再生してください。

DVDirect Express以外のDVDライターなどでAVCHDディスクを作る

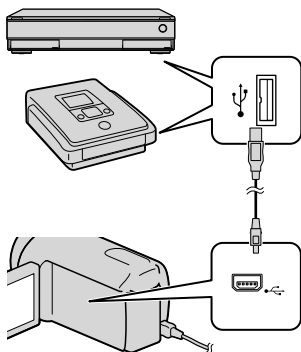
ハイビジョン画質(HD)対応のソニー製DVDライターや、ソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器と本機を、USBケーブルで接続します。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(16ページ)。

• ソニー製DVDirect（DVDライター）を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/dvdirect/

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ（16ページ）。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル（付属）で本機の（USB）端子とDVDライターなどをつなぐ。

[USB機能選択]画面が表示されます。

• [USB機能選択]画面が表示されないときは、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[その他の機能]の[USB接続]をタッチして表示させてください。

3 本機の画面で、動画の記録メディアを選んでタッチする。

[USB接続]：内蔵メモリー
[USB接続]：内蔵ハードディスク
[USB接続]：メモリーカード

• 記録メディアはお使いの機種によって異なります。

4 接続先機器で録画操作を行う。

• 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ディスク作成が終わったら、本機の画面で[終了]→[はい]をタッチする。

6 USBケーブルを取り外す。

レコーダーなどで標準画質（STD）のディスクを作る

本機をディスクレコーダーや、ソニー製DVDirect Express以外のDVDライターなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへダビングできます。次図の1か2どちらかの方法で接続してください。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

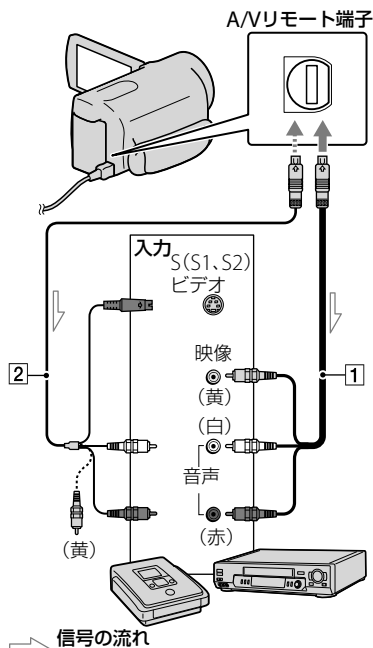
ご注意

• 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（16ページ）。
• ハイビジョン画質（HD）で記録された画像は、標準画質（STD）でダビングされます。

1 **A/V接続ケーブル（付属）**
他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像ケーブル付きのA/V接続ケーブル（別売）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属の

他機を使って保存する

A/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル 1 (付属)、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル 2 (別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[一般設定]の[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル](お買い上げ時の設定)→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。
- 日時やカメラデータ、緯度経度データをダビングしたいときは、MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[再生]の[再生設定]→[日時/データ表示]→お好みの設定→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。また、MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[一般設定]の[出力設定]→[画面表示出力]→[ビデオ出力/パネル]→ OK → ↩ → ✕ をタッチしてください。

• テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[一般設定]の[出力設定]→[TVタイプ]→[4:3]→ OK → ↩ → × をタッチしてください。
• 他機がモノラル（ひとつの音声入力・出力）の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

メニューを使いこなそう

メニュー操作により、撮影に便利な機能を使ったり、各種設定を変更したりできます。メニューを使いこなすことで、「撮る」「見る」「保存する」をさらに楽しめます。
本機のメニューは大きく8つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。

マニュアル設定（場面や状況などに合わせる設定）→ 83ページ

撮影設定（好みの撮影をするときの設定）→ 88ページ

静止画設定（静止画撮影に関する設定）→ 92ページ

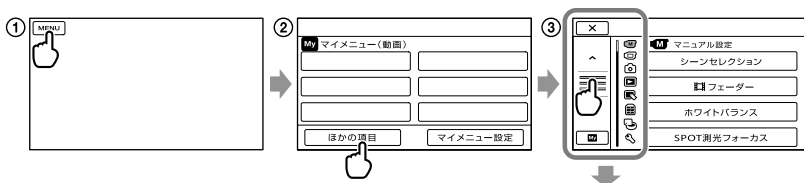
再生（再生に関する設定）→ 94ページ

編集（編集に関する設定）→ 96ページ

その他の機能（いろいろな設定）→ 96ページ

メディア管理（メディアに関する設定）→ 97ページ

一般設定（その他の設定）→ 98ページ

メニューの操作方法

[⏫]／[⏬] をタッチするとカテゴリーごとに移動します。
[⌃]／[⌄] をタッチすると4項目ごとに移動します。
- タッチしたままずらすと画面をスクロールできます。
- 選択中のカテゴリーのアイコンがオレンジ色で表示されます。
- [My] が表示されているときにタッチすると、マイメニューに戻ります。

① [MENU]（メニュー）をタッチする。
② マイメニュー画面で［ほかの項目］をタッチする。
- マイメニューについては次のページをご覧ください。

③ 画面左の中央部をタッチして、画面表示を切り換える。
④ 設定を変更するメニュー項目にタッチする。
⑤ 設定を変更して [OK] をタッチする。
メニューを終了するには、[×] をタッチします。
前のメニューに戻るには、[⮌] をタッチします。
- メニューによっては、[OK] が表示されないものもあります。

ご注意

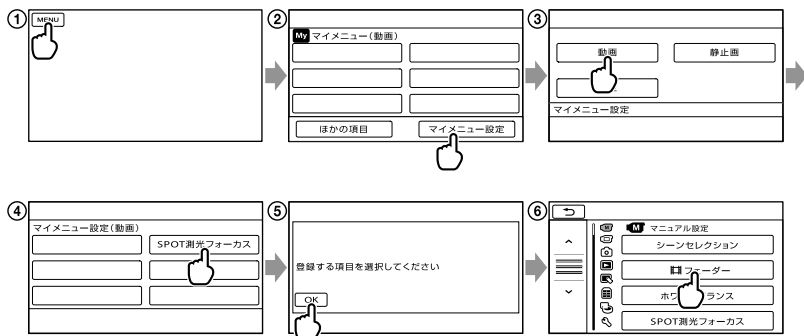
- 本機の状態によっては、設定できないメニュー項目があります。
- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。

ちょっと一言

- 設定したメニュー項目の内容によって、本機の撮影（動画・静止画）/再生モードも切り替わります。

マイメニューに登録して使う

よく使うメニュー項目を、マイメニューに登録することで簡単に利用できます。動画/静止画/再生のそれぞれのマイメニューに6つのメニュー項目を登録できます。

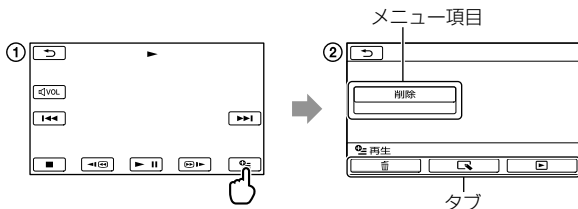
例：動画のマイメニュー[SPOT測光フォーカス]を削除して[フェーダー]を登録

① MENU（メニュー）をタッチする。
② [マイメニュー設定]をタッチする。
③ [動画]をタッチする。
④ [SPOT測光フォーカス]をタッチする。
⑤ OK をタッチする。
⑥ M（マニュアル設定）カテゴリーの[フェーダー]をタッチする。
⑦ マイメニューが表示されたら、✕ をタッチする。

同様の手順で、お気に入りの項目をマイメニューに登録して、"ハンディカム"をもっと楽しく使いましょう。

ちょっと一言

- 外付けメディア接続中には、専用のマイメニューが表示されます（71ページ）。

オプションメニューを使う

オプションメニューは、パソコンの右クリックのような役割のメニューです。画面右下に が表示されているとき、オプションメニューが使えます。 をタッチすると、そのときに設定できるメニュー項目が表示されます。

① (オプション)をタッチする。

② タブ → 希望のメニュー項目の順にタッチして設定を変更する。

③ 設定が終わったら、OK をタッチする。

ご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目や設定は使えません。
- 希望の項目が画面にないときは、他のタブをタッチしてください。(タブが表示されないこともあります。)
- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧

(マニュアル設定)カテゴリー

(撮影設定)カテゴリー

(静止画設定)カテゴリー

(再生)カテゴリー

(編集)カテゴリー

- 動画ダビング
  - 選択ダビング 50
  - 日付ダビング 50
  - HD 全ダビング/STD 全ダビング 50
- 静止画コピー
  - 選択コピー 50
  - 日付コピー 50
- プレイリスト編集
  - HD 追加/STD 追加 51
  - HD 日付指定追加/STD 日付指定追加 52
  - HD 消去/STD 消去 52
  - HD 全消去/STD 全消去 52
  - HD 移動/STD 移動 53

(その他の機能)カテゴリー

- 現在地表示 54
- USB接続
  - USB接続* 74
  - USB接続** 74
  - USB接続 74
  - ワンタッチディスク 64
- テレビ接続ガイド 41
- BGMツール
  - BGMデータ消去 39
  - BGMダウンロード 39
- バッテリーインフォ 96

(メディア管理)カテゴリー

- メディア設定
  - 動画メディア設定 19
  - 静止画メディア設定 19
- メディア情報 97
- メディア初期化
  - 内蔵メモリー* 97
  - HDD** 97
  - メモリーカード 97
- 管理ファイル修復
  - 内蔵メモリー* 108、113
  - HDD** 108、113
  - メモリーカード 108、113

(一般設定)カテゴリー

- 音/画面設定
  - 音量 35、98
  - 操作音 98
  - パネル明るさ 98
  - パネルBLレベル 98
  - パネル色の濃さ 99
  - 画面表示設定 99
- 出力設定
  - TVタイプ 99
  - コンポーネント出力 100
  - HDMI解像度 100
  - 画面表示出力 100
- 時計設定
  - 日時あわせ 17
  - エリア設定 100
  - 自動時刻補正 100
  - 自動エリア補正 100
  - サマータイム 101
- 電源設定
  - 自動電源オフ 101
- その他一般設定
  - デモモード 101
  - キャリブレーション 126
  - HDMI機器制御 102
  - 落下検出** 101
  - 録画ランプ 102
  - リモコン 102

* HDR-CX550V
** HDR-XR550V

M マニュアル設定（場面や状況などに合わせる設定）

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶ **オート**
シーンセレクションを使わずに、平均的な画質に調整する。

夜景*（）
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

夜景＆人物（）
静止画撮影時にフラッシュを使い、人物と背景を撮影する。

日の出＆夕焼け*（）
日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（）
打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（）
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（）
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト（）**
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ビーチ（）**
海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー（）**
ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。
** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意
- [夜景＆人物]に設定していても、動画撮影モードでは[オート]になります。
- [シーンセレクション]を設定すると、[ホワイトバランス]の設定が解除されます。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。
スタンバイ中（フェードイン）、または撮影中（フェードアウト）に以下の操作を行います。

▶ **切**
効果を使わない。

ホワイトフェーダー
フェードイン/アウトで効果を使う（白）。

ブラックフェーダー
フェードイン/アウトで効果を使う（黒）。

操作開始前に解除するには、[切]をタッチする。

ちょっと一言

- 一度START/STOPボタンを押すと設定は解除されます。
- [ブラックフェーダー]で撮影した画像は、インデックス画面で見えにくいことがあります。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶ **オート**
自動調節される。

屋外（）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

屋内（）
次の撮影環境に合った色合いになる。
- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（）
光源に合わせてホワイトバランスを固定する。
① [ワンプッシュ]をタッチする。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ [ ]をタッチする。
が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。

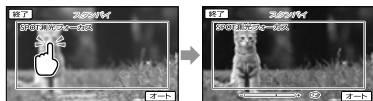
ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンプッシュ]の手順で色合いを調節してください。
- [ワンプッシュ]設定時の の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- [ワンプッシュ]が設定できなかった場合、 がゆっくり点滅します。
- [ワンプッシュ]で設定するとき、OK をタッチしても が点滅する場合は、[オート]に設定してください。
- [ホワイトバランス]を設定すると[シーンセレクション]が[オート]になります。

ちょっと一言

- [オート]でバッテリーを交換したときや屋内外を移動したときは、10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。

SPOT測光フォーカス

被写体に合わせて、明るさとピントを同時に合わせます。[スポット測光](85ページ)と[スポットフォーカス](85ページ)が同時に使えます。

画面枠内の明るさとピントを合わせたい被写体にタッチする。
自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

ご注意

- [カメラ明るさ]と[フォーカス]は、自動的に[マニュアル]になります。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

画面枠内の明るさを合わせたい被写体にタッチする。
自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

ご注意

- [カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。

スポットフォーカス

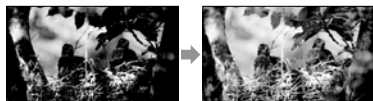
画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

画面枠内のピントを合わせたい被写体にタッチする。
自動ピント合わせに戻すには、[オート]をタッチする。

ご注意

- [フォーカス]が自動的に[マニュアル]になります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。

−/+をタッチして明るさを調節する。
自動調節に戻すには、[オート]をタッチする。

ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(31ページ)。

本機の設定を変える

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

(近くにピント合わせ)/(遠くにピント合わせ)をタッチしてピントを調節する。
自動ピント合わせに戻すには、[オート]をタッチする。

ご注意

- マニュアルに設定すると、が表示されます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示されます。
- ピントは、はじめにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します(別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません)。
  - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  - フォーカスを手動調節したとき
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(31ページ)。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ **切**
近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

入(T)
ズーム(27ページ)が自動で望遠(T側)になり、約32cmまでの近接撮影ができる。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、86ページ)。

AEシフト

露出をお好みに合わせて調節できます。

▶ **切**
自動で調整される。

入(ASと設定した数値)
手動で調整する。

ちょっと一言

- [カメラ明るさ]が[オート]のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- 白い被写体や逆光のときは ＋ 、黒い被写体や暗い場所のときは − をタッチすることをおすすめします。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(31ページ)。

WBシフト(ホワイトバランスシフト)

ホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。

▶ **切**
自動で調整される。

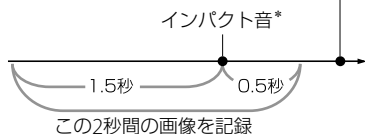
入(WSと設定した数値)
手動で調整する。

ちょっと一言

- 数値を下げると画像が青味がかり、数値を上げると赤味がかります。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(31ページ)。

ゴルフショット

2秒間の高速な動作や現象を分割し、動画、静止画として記録します。再生すると一連の動作が表示されるので、ゴルフやテニスのフォームを確認するときなどに便利です。

[ゴルフショット]画面で、被写体を画面中央の白いガイドフレーム内におさめてスウィング直後にSTART/STOPボタンを押す。本機がインパクト音を検出すると、インパクト音を基準に記録される区間が自動調整されます。

* START/STOPボタンを押した時点から、過去1秒間で一番音量が大きい瞬間をインパクト音として検出。

ご注意

- 本機がインパクト音を検出できなかったときは、START/STOPボタンを押す前の約0.5秒の時点をインパクトの瞬間とみなし、その前1.5秒と後0.5秒の合計2秒間の動作を記録します。
- 静止画の画像サイズは1,920 × 1,080になります。
- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。
- 標準画質(STD)に設定しているときは[ゴルフショット]は使用できません。

ちょっと一言

- (オプション)をタッチして、セルフタイマーを設定できます。[セルフタイマー]を[入]に設定した場合は、START/STOPボタンを押した後にタイマーのカウントダウンが始まります。カウントダウンが0になった時点をインパクトの瞬間とみなして、その前後の動作を記録します。
- 記録中に手ブレが発生した場合や、背景に動くものがある場合は、画像解析がうまくできずに、ノイズの多い映像になることがあります。三脚などを使って安定した状態で撮影することをおすすめします。
- 外部マイクを取り付けている場合も、インパクト音は内蔵マイクを使って検出されます。

なめらかスロー録画

通常撮影では見ることができない高速な動作や現象を、なめらかスローモーション映像として撮影します。

[なめらかスロー録画]画面でSTART/STOPボタンを押す。
約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。[録画中]が消えると記録が完了します。

解除するには、 をタッチします。

設定を変更するには

(オプション)をタッチして変更したい設定を選ぶ。

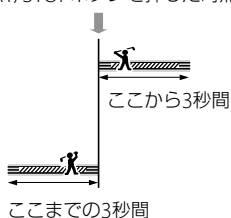
[タイミング]

START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択します(お買い上げ時の設定は[ここから3秒間])。

ご注意

- 音声は記録できません。
- 画質は通常撮影時より劣化します。

撮影設定(好みの撮影をするときの設定)

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

HD/STD設定

28ページをご覧ください。

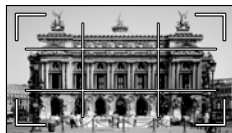
録画モード

28ページをご覧ください。

ガイドフレーム

フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。

▶ 切
ガイドフレームを表示しない。

入
ガイドフレームを表示する。

ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- ガイドフレームの外側の枠は、フルピクセル表示機能のないテレビの表示エリアを表しています。
- ファインダー使用時はガイドフレームの外側の枠は表示されません。

手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売り)を利用するときは、[切]()にすると自然な画像になります。

▶ **アクティブ**
強い手ブレ補正効果を得る。

スタンダード
比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

切()
手ブレ補正機能を使わない。

ご注意

- [手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。
- [手ブレ補正]が[アクティブ]以外のときは、10倍までの光学ズームができます。

アクセサリーレンズ

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

▶ **切**
コンバージョンレンズを使わない。

ワイコンレンズ()
ワイドコンバージョンレンズを使う。

テレコンレンズ()
テレコンバージョンレンズを使う。

ご注意

- [アクセサリーレンズ]を[切]以外に設定しているときは、内蔵フラッシュは発光しません。また、[フラッシュモード](93ページ)を設定できません。

LOW LUX

薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ **切**
LOW LUX機能を使わない。

入()
LOW LUX機能を使う。

顔検出

人物の顔を検出して、顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。また、ハイビジョン画質(HD)のときはさらに、顔部分が細密な画像になるように調整します。

▶ **入**
顔検出する。

切()
顔検出しない。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、[顔検出]を[切]にしてください。

ちょっと一言

- 顔検出をしやすくするためには以下のような状況で撮影してください。
  - 適度に明るい場所で撮影する
  - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
  - 顔をカメラ正面に向ける
- 検出した顔はフェイスインデックスに登録されます。ただし、すべてが登録されるわけではありません。また、フェイスインデックスに登録できる数には限りがあります。フェイ

スインデックス画面で再生するには37ページをご覧ください。

優先被写体設定

顔検出やスマイルシャッターで優先する被写体を選びます。選んだ被写体にあわせて、フォーカス/色/露出を自動的に調節します。

▶ オート
大人、子どもの区別なく顔を検出します。

こども優先
子どもの顔を優先的に検出します。

おとな優先
大人の顔を優先的に検出します。

ちょっと一言

- 液晶画面に表示された顔枠にタッチして優先する被写体を選んだ場合は、二重枠が表示されている被写体が優先になります（29ページ）。

スマイル検出設定

笑顔を検出すると自動で静止画を撮影します（スマイルシャッター）。

▶ 動画録画中のみ（）
動画録画中のみ笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影する。

常時（）
静止画撮影可能状態時に笑顔を検出して自動的に静止画を撮影する。

切
笑顔を検出しないため、静止画を自動撮影しない。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、笑顔を検出できないことがあります。
- [動画録画中のみ]を選択したとき、動画撮影スタンバイ中は、撮影画面上に が表示されます。動画撮影を開始すると、撮影画面上のアイコンが に切り替わります。

スマイル検出感度

自動撮影する笑顔の検出感度を設定します。

高
ほほえみ程度で検出する。

▶ 中
普通の笑顔で検出する。

低
大笑いで検出する。

音声記録設定

■ 内蔵ズームマイク

ズームと連動して、臨場感のある音声を記録できます。

▶ 切
ズームと音声を連動しない。

入（）
ズームと音声を連動する。

■ マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。

▶ 標準
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低（）
周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。（日常の会話の録音などには適していません。）

■ オーディオモード

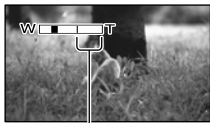
録画時の音声フォーマットを変更できます。

▶ 5.1chサラウンド(♪5.1ch)
5.1chサラウンドで記録する。

2chステレオ(♪2ch)
2chステレオで記録する。

その他撮影設定

■ デジタルズーム

デジタルズームの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

[120×]を選ぶと表示されます。

▶ 切
14倍ズーム

120×
最大120倍までのデジタルズーム

ご注意

- [手ブレ補正]が[アクティブ]以外のときは、10倍光学ズームになります。

■ 自動逆光補正

自動で逆光補正をします。

▶ 入
自動で逆光補正を行う。

切
逆光補正を行わない。

■ ダイヤル設定

MANUALダイヤルに割り当てる項目を選択できます。詳しくは31ページをご覧ください。

■ NIGHTSHOT ライト

NightShot(31ページ)撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。

▶ 入
赤外線ライトを発光する。

切
発光しない。

ご注意

- 赤外線発光部(135ページ)を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ(別売)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

■ X.V.COLOR

より広い色域で記録できます。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

▶ 切
通常の色域で撮影する。

入(COLOR)
x.v.Colorで撮影する。

ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときは、あらかじめ[入]にして撮影してください。
- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
  – 標準画質(STD)で記録するとき
  – 動画を撮影中

■ ワイド切換

標準画質(STD)で記録するときに、つなぐテレビの画像の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ **16:9 ワイド**
ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3(4:3)
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください(99ページ)。

静止画設定
(静止画撮影に関する設定)

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

セルフタイマー

PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ **切**
セルフタイマーを解除する。

入( )
セルフタイマーで撮影する。撮影を中止するには[リセット]をタッチする。

ちょっと一言

- リモコンのPHOTOボタンでも操作できます(136ページ)。

画像サイズ

撮影する静止画のサイズを選びます。

▶ **12.0M(12.0M)**
最高画質で撮影する(4,000 × 3,000)。

9.0M(9.0M)
最高画質をワイド(16:9)で撮影する(4,000 × 2,250)。

6.2M(6.2M)
鮮明な画像を撮影する(2,880 × 2,160)。

1.9M(1.9M)
比較的きれいな画像をたくさん撮影する(1,600 × 1,200)。

VGA(0.3M)(VGA)
たくさんの画像を撮影する(640 × 480)。

ご注意

- 設定した画像サイズは、(静止画)ランプ点灯時に有効です。

- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。
- 撮影可能枚数は118ページをご覧ください。

手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売り)を利用するときは、[切]()にすると自然な画像になります。

▶ **入**
手ブレ補正機能を使う。

切()
手ブレ補正機能を使わない。

フラッシュモード

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売り)を使って静止画を撮影するときのフラッシュの設定を選べます。

▶ **オート**
撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

入()
周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

切()
常に発光しない。

ご注意
- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は約0.3m ～ 1.5mです。
- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどして、フラッシュが充分な光量を発光できなくなることがあります。
- /CHG(フラッシュ /充電)ランプ(14ページ)はフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。
- 逆光時や明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- [アクセサリーレンズ](89ページ)を[切]以外に設定しているときは、内蔵フラッシュは発光しません。また、[フラッシュモード]を設定できません。
- 動画撮影モードのときは、フラッシュは発光しません。

フラッシュレベル

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売り)を使って静止画を撮影するときに設定します。

明るい(+)
発光量が増える。

▶ **ノーマル()**

暗い(–)
発光量が減る。

赤目軽減

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応した外付けフラッシュ(別売り)を使って静止画を撮影するときに設定します。
[入]に設定して、[フラッシュモード]の設定を[オート]または[入]にすると、が表示されます。フラッシュ発光するときに予備発光し、目が赤く光るのを抑制します。

▶ **切**
赤目軽減しない。

入()
赤目軽減する。

ご注意

- 赤目軽減で撮影しても、効果が表れにくいことがあります。
- [スマイル検出設定]で自動撮影するときは予備発光しません。

ファイルナンバー

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

▶ **連番**
静止画のファイル番号を連続して付ける。撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなります。
メモリーカードを取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付きます。

リセット
記録メディアに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。
メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付きます。

再生
(再生に関する設定)

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。

V.インデックス

33ページをご覧ください。

インデックス切換

■ 日付インデックス

36ページをご覧ください。

■ 地図

55ページをご覧ください。

■ フィルムロール

36ページをご覧ください。

■ フェイス

37ページをご覧ください。

プレイリスト

52ページをご覧ください。

ハイライト再生

37ページをご覧ください。

シナリオ再生

39ページをご覧ください。

再生設定

■ HD/STD設定

28ページをご覧ください。

■ 日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日付時刻データやカメラデータ、緯度経度データ）を再生時に確認できます。

▶ **切**

日付時刻データやカメラデータ、緯度経度データを表示しない。

日付時刻データ

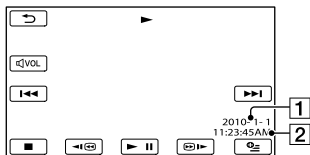
記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ

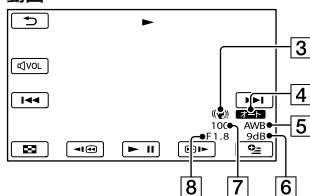
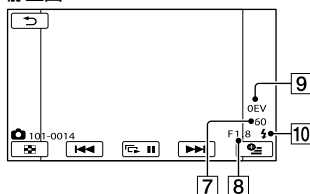
記録した画像のカメラデータを表示する。

緯度経度データ

記録した画像の緯度経度データを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

動画

静止画

3 手ブレ補正切
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出
10 フラッシュ

緯度経度データ

56ページをご覧ください。

ちょっと一言

- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのDATA CODEボタンを押すたびに、[日付時刻データ]→[カメラデータ]→[緯度経度データ]→[切]（表示なし）と切り替わります。
- 記録メディアの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

編集
（編集に関する設定）

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。

削除

45ページをご覧ください。

シナリオ消去

39ページをご覧ください。

プロテクト

46ページをご覧ください。

分割

47ページをご覧ください。

動画から静止画作成

48ページをご覧ください。

動画ダビング

49ページをご覧ください。

静止画コピー

50ページをご覧ください。

プレイリスト編集

51ページをご覧ください。

その他の機能
（いろいろな設定）

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。

現在地表示

54ページをご覧ください。

USB接続

75ページをご覧ください。

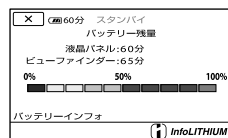
テレビ接続ガイド

41ページをご覧ください。

BGMツール

39ページをご覧ください。

バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量の目安を確認できます。

終了するには

✕ をタッチする。

メディア管理（メディアに関する設定）

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。

メディア設定

19ページをご覧ください。

メディア情報

動画の記録メディアの録画モードごとの録画可能時間や、記録メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

終了するには

[×] をタッチする。

ご注意

- 管理ファイル用領域があるため、[メディア初期化]（97ページ）を行っても、使用領域の表示は0%になりません。

ちょっと一言

- [動画メディア設定]（19ページ）で設定している記録メディアの情報が表示されます。必要に応じて記録メディアを切り換えてください。

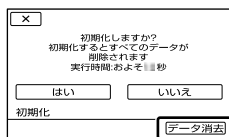
メディア初期化

初期化とはメディア内の動画・静止画をすべて削除して、記録メディアの容量を元に戻すことです。
初期化する記録メディアを選択し、[はい] → [はい] → [OK] をタッチする。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください（16ページ）。
- 大切な画像は保存してから[メディア初期化]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。
- [実行中]が表示されているときは、液晶画面の開閉やボタンを操作したり、メモリーカードを取り出したり、ACアダプターを外したりしないでください（メモリーカードの初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します）。

内蔵記録メディア上のデータを復元しにくくするには

本機の内蔵記録メディアに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。
本機を廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐために[データ消去]を行うことをおすすめします。
[メディア初期化]画面で内蔵記録メディアを選択し、[データ消去]をタッチしてください。

ご注意

- ACアダプターを使って電源をコンセントからとってください。ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、[データ消去]を行うことはできません。
- 大切な画像データはパソコンまたは他機に保存してから、[データ消去]を行ってください。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データの消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- データの消去にかかる時間は以下の通りです。
  HDR-CX550V : 約6分
  HDR-XR550V : 約120分
- [実行中]と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、[メディア初期化]または[データ消去]を実行して完了させてください。

管理ファイル修復

108、113ページをご覧ください。

一般設定（その他の設定）

メニューの操作方法は78ページをご覧ください。
▶はお買い上げ時の設定です。

音/画面設定（音やパネルの設定）

■ 音量

[−]/[+]をタッチして音量を調節できます。

■ 操作音

▶ 入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
メロディ、シャッター音を鳴らさない。

■ パネル明るさ

[−]/[+]をタッチして液晶画面の明るさを調節できます。

ちょっと一言

- 録画される画像に影響ありません。

■ パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを選びます。

▶ ノーマル
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意

- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

- 液晶画面を180°回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

■ パネル色の濃さ

[－]/[＋]をタッチして液晶画面の濃さを調節できます。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

■ 画面表示設定

液晶画面に画面表示が表示される時間を設定します。

▶ オート1
画面表示を約3秒間だけ表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示する。

オート2
画面表示を約3秒間だけ表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示しない。

入
画面表示を常時表示する。液晶横録画/ズームボタンを表示しない。

ちょっと一言
- 次の操作をすると、画面表示が再表示されます。
  - 本機の電源を入れたとき
  - 液晶画面をタッチしたとき（液晶横録画/ズームボタンをのぞく）
  - 動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えたとき

出力設定（テレビにつないだときの出力設定）

■ TVタイプ

つなぐテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

▶ 16:9
ワイドテレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

ワイド（16:9）で撮影した画像	4:3で撮影した画像

4:3
4:3テレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

ワイド（16:9）で撮影した画像	4:3で撮影した画像

ご注意
- ハイビジョン画質（HD）で記録するときの横縦比は16:9になります。
- ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の横縦比に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

■ コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

D1
D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

▶ D3
D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

■ HDMI解像度

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

ハイビジョン画質

ハイビジョン画質（HD）で記録された映像の出力解像度を設定します。

▶ オート
通常の設定（テレビの表示可能な信号をオートで出力）。

1080p
1080pで出力する。

1080i
1080iで出力する。

720p
720pで出力する。

480p
480pで出力する。

標準画質

標準画質（STD）で記録された映像の出力解像度を設定します。

▶ オート
通常の設定（テレビの表示可能な信号をオートで出力）。

480p
480pで出力する。

480i
480iで出力する。

■ 画面表示出力

画面表示の出力先を設定します。

▶ パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
カウンターなどの画面表示をテレビ画面と液晶画面、ファインダーに出す。

時計設定（日付・時刻などの設定）

■ 日時あわせ

17ページをご覧ください。

■ エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わすことができます。「世界時刻表」（120ページ）をご覧ください。

■ 自動時刻補正

56ページをご覧ください。

■ 自動エリア補正

56ページをご覧ください。

■ サマータイム

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

▶ 切
サマータイムに設定しない。

入
サマータイムに設定する。

電源設定

■ 自動電源オフ

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

▶ 5分後
自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

その他一般設定

■ デモモード

コンセントにつないでいるときに、MODEボタンを押して(動画)ランプを点灯させた約10分後に、本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

▶ 入
デモンストレーションを出す。

切
デモンストレーションを出さない。

ご注意

- お買い上げ時には、ビジュアルインデックスにデモンストレーション用の動画が用意されています。削除した場合、元に戻すことはできません。
- 撮影した動画が次の全ての条件を満たした場合、自動的にデモンストレーション用の動画として登録されます。
  - プロテクトされていること
  - ビジュアルインデックス上で一番最初にあること
  - 内蔵記録メディアに保存されていること
  - ハイビジョン画質(HD)であること

ちょっと一言

- [入]に設定し、OKをタッチするとデモンストレーションが開始されます。
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションが中断されます。
  - START/STOPボタン、またはPHOTOボタンを押す
  - デモンストレーション中に画面をタッチする(約10分後に再開します)
  - (静止画)ランプを点灯させる
  - (画像再生)ボタンを押す

■ キャリブレーション

126ページをご覧ください。

■ 落下検出 (HDR-XR550V)

本機が落下状態を検出して、内蔵ハードディスクを保護します。

▶ **入**

落下を検出する。検出時は、内蔵ハードディスク保護のために、正常な記録/再生ができなくなることがある。落下検出時は、が表示される。

切()

落下を検出しない。

ご注意

- 通常は[入]にして本機を使用してください。[切]にすると、落下時に本機の内蔵ハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機が無重力状態になると落下検出が作動します。ジェットコースターやスカイダイビングなど、本機が無重力状態で撮影するときは、[切]に設定すると落下検出が作動しません。

■ HDMI機器制御

HDMIケーブル（別売）でブラビアリンク対応のテレビとつないで再生するとき、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます（43ページ）。

▶ **入**

テレビのリモコンで操作する。

切

テレビのリモコンで操作しない。

■ 録画ランプ

撮影中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

▶ **入**

点灯する。

切

点灯しない。

■ リモコン

▶ **入**

付属のワイヤレスリモコン（136ページ）を使う。

切

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンは使わない。

ちょっと一言

- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

故障かな?と思ったら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

① 103 ~ 115ページの項目をチェックし、本機を点検する。

▼

② 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

▼

③ RESETボタン(135ページ)を先の細いもので押してから電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

▼

④ "ハンディカム"ホームページなどで確認する。
故障診断、修理のお申し込みなど
http://www.sony.co.jp/cam/support

▼

⑤ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

- 修理内容によっては内蔵記録メディア(内蔵ハードディスクや内蔵メモリー)の初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵記録メディア内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に記録メディア内のデータを保存(バックアップ)してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵記録メディア内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

全体操作・リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(14ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(14ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタン(135ページ)を先のとがったもので押す(すべての設定が解除されます)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動してしばらくしてから電源を入れる。

メニュー項目の設定が変わっている。

- 次のメニュー項目は、液晶画面を閉じて12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  - [シーンセレクション]
  - [ホワイトバランス]
  - [SPOT測光フォーカス]
  - [スポット測光]
  - [スポットフォーカス]
  - [カメラ明るさ]
  - [フォーカス]
  - [LOW LUX]
  - [内蔵ズームマイク]
  - [マイク基準レベル]
  - [自動逆光補正]
  - [絞り]
  - [シャッタースピード]
  - [落下検出](HDR-XR550V)
- 次のメニュー項目は、動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - [フェーダー]
  - [テレマクロ]
  - [セルフタイマー]

本機が温かくなる。

- 本機を使用中に本機が温かくなることがありますが、故障ではありません。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする(102ページ)。
- 電池の+極と−極を正しく入れる(137ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる(自動電源オフ)。[自動電源オフ]の設定を変更する(101ページ)か、もう一度電源を入れる。
- バッテリーを充電する(14ページ)。

バッテリーの充電中、⚡/CHG(フラッシュ /充電)ランプが点灯しない。

- 液晶画面を閉じる(14ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(14ページ)。

バッテリーの充電中、⚡/CHG(フラッシュ /充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(124ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください（125ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください（125ページ）。

液晶画面・ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります（110ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- リモコンのDISPLAYボタンを押す（136ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない、または正しく操作できない。

- タッチパネルを調節（キャリブレーション）する（126ページ）。

タッチパネルのボタンがすぐに消えてしまう。

- ［画面表示設定］を［入］にする（99ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを動かす（24ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- ファインダーが引き出されていても、液晶画面を開いているとファインダーには画像は映りません。液晶画面を閉じる（24ページ）。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する（97ページ）。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（123ページ）。

撮影

「メモリーカード」(105ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、(動画)ランプまたは(静止画)ランプを点灯させる(22ページ)。
- 直前に撮影した画像を記録メディアに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- 記録メディアの空き容量がない。不要な画像を削除する(45ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(116、118ページ)。不要な画像を削除する(45ページ)。
- [落下検出](101ページ)動作中は、撮影できないことがあります(HDR-XR550V)。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。

静止画を撮影できない。

- 次の設定のとき、静止画を記録できません。
  - [フェーダー]
  - [ゴルフショット]
  - [なめらかスロー録画]
- [録画モード]を[HD FX]に設定しているときは、動画記録中に静止画の撮影はできません。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

フラッシュが発光しない。

- 次のとき、内蔵フラッシュでの撮影はできません。
  - (動画)ランプが点灯中
  - [アクセサリーレンズ]が[切]以外に設定されているとき
- 自動調節や(自動赤目軽減)にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  - NightShot
  - MANUALダイヤルに[絞り]、[シャッタースピード]を割り当てているとき
  - [SPOT測光フォーカス]
  - [スポット測光]
  - [カメラ明るさ]が[マニュアル]のとき
  - [シーンセレクション]の[夜景]、[日の出&夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります(116ページ)。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比（ワイド/4:3）が切り換えられない。

- ハイビジョン画質（HD）のときは、動画の横縦比は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- ［フォーカス］を［オート］にする（86ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（86ページ）。

手ブレ補正ができない。

- ［手ブレ補正］を［アクティブ］または［スタンダード］、［手ブレ補正］を［入］にする（89、93ページ）。
- ［手ブレ補正］が［アクティブ］または［スタンダード］、［手ブレ補正］が［入］になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する（31ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShotを解除する（31ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- ［手ブレ補正］を［アクティブ］以外に設定してください（89ページ）。

［パネルBLレベル］を調節できない。

- 次のとき、［パネルBLレベル］は調節できません。
  - 液晶画面を外側に向けて本体に収めているとき
  - ACアダプターを使用しているとき

撮影モードを切り換えると、ズーム倍率が変わる。

- 静止画撮影モードでは、デジタルズームは使えません。

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを抜いた場合、音声が正しく記憶されない場合があります。
- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。

再生

画像を再生できない。

- 再生したい画像が入っている記録メディアを選ぶ（19ページ）。
- 再生したい画像の記録画質（ハイビジョン/標準）を選ぶ（28ページ）。
- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません。

ビジュアルインデックスの画像に ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に液晶画面右上の記録メディアアイコン点灯中や、アクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

ビジュアルインデックスの画像に が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→［ほかの項目］→［メディア管理］の［管理ファイル修復］→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は が表示されている画像を削除する（45ページ）。

音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする（35ページ）。
- 液晶画面を反転して閉じていると、音声が聞こえにくくなります。液晶画面を開く。
- ［マイク基準レベル］（90ページ）を［低］にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。
- ［なめらかスロー録画］、［ゴルフショット］で、音声は記録できません。

パソコンや他の再生機器で再生すると、音声の左右のバランスが偏って聞こえる。

- 2chステレオの再生機器の場合は、音声変換の方式（ダウンミックス方式）を切り換える。詳しくは再生機器の取扱説明書をご確認ください。
- 付属のソフトウェア「PMB」を使ってディスク作成するとき、設定を2chに変更する。
- 5.1chサラウンドで撮影した音声を、パソコンや再生機器が2ch（通常のステレオ音声）に変換するときに起きることがある現象で、故障ではありません。
- 撮影するときに本機の［オーディオモード］を［2chステレオ］にする（91ページ）。

デモンストレーション用の動画を再生できない。

- 記録メディアを内蔵記録メディア、記録画質をハイビジョン画質（HD）に設定する。
- デモンストレーション用の動画を削除した場合は、再生できません。

動画が自動的に再生される。

- 本機では撮影した動画が一定の条件を満たしたときに、デモンストレーション用の動画として再生されます（101ページ）。故障ではありません。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません（4ページ）。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

プレイリストに追加できない。

- 記録メディアの空き容量がない。
- プレイリストにはハイビジョン画質（HD）で999個、標準画質（STD）で99個までしか動画を追加できません。プレイリストから不要な動画を消去する（52ページ）。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトをかけた動画は分割できません。

動画から静止画を作成できない

- 静止画を記録する記録メディアの容量が足りない。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- D端子A/Vケーブルを使うときは、接続する機器に合わせて［コンポーネント出力］を正しく設定する（100ページ）。
- コンポーネントプラグ（D端子）だけでつないでいるため。D端子A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（42ページ）。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。
- S（S1、S2）映像プラグだけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（43ページ）。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の液晶画面は記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。
- ［ガイドフレーム］（88ページ）の外側の枠を目安に撮影する。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[TVタイプ]を正しく設定して再生する(99ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブル(別売)を使ってのダビングはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。他機の入力端子へつながれているか確認する(75ページ)。

GPS

GPSが受信できない

- 障害物の影響でGPS衛星の電波が受信できない。見晴らしの良い場所に移動して、GPSスイッチを入れなおす。電波の届かない場所について詳しくは、121ページをご覧ください。

測位しているが現在地がずれる

- 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信した場合、また、受信したGPSの電波が弱い場合など、最大で数百メートルの誤差を生じます。

パソコンとの接続

「PMB」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する。

「PMB」が正しく動作しない。

- 「PMB」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

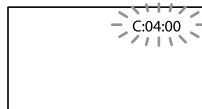
同時に使えない機能の一例

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
MANUALダイヤルの[絞り]、[シャッタースピード]	NightShot
おまかせオート	[ゴルフショット]、[なめらかスロー録画]

使えない機能	以下を設定してあるため
[顔検出]	NightShot、[ゴルフショット]、[なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[SPOT測光フォーカス]、[スポット測光]、[スポットフォーカス]、[カメラ明るさ]、[フォーカス]、[夜景]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]、[ホワイトバランス]、[フェーダー]、[■ セルフタイマー]
[優先被写体設定]/[スマイル検出設定]/[スマイル検出感度]	NightShot、[ゴルフショット]、[なめらかスロー録画]、[デジタルズーム]、[SPOT測光フォーカス]、[スポット測光]、[スポットフォーカス]、[カメラ明るさ]、[フォーカス]、[夜景]、[日の出＆夕焼け]、[打ち上げ花火]、[風景]、[スポットライト]、[ビーチ]、[スノー]、[ホワイトバランス]、[フェーダー]、[■ セルフタイマー]
[シーンセレクション]	NightShot、[ゴルフショット]、[なめらかスロー録画]、[LOW LUX]、[フェーダー]、[テレマクロ]

自己診断・警告表示

液晶画面またはファインダーに次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□
- “インフォリチウム”バッテリー Vシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズを使う（124ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（14ページ）。

C:06:□□
- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□
- 103ページの手順②から⑤をお試しください。

（本機の内蔵ハードディスクに関する警告）

速い点滅

- 本機の内蔵ハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機の内蔵ハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

（バッテリーの温度に関する警告）

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅

- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（温度の低下関連の警告）

速い点滅

- 本機の温度が著しく低下している。本機を温める。

（メモリーカード関連の警告）

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、20ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない（20ページ）。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから（71ページ）、メモリーカードを初期化する（97ページ）。
- 管理ファイルが壊れている。MENU（メニュー）→［ほかの項目］→［メディア管理］の［管理ファイル修復］→記録メディアの順にタッチして、管理ファイルの状態をチェックする。
- メモリーカードが壊れている。

（メモリーカード初期化関連の警告）

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない（97ページ）。

（非対応メモリーカード関連の警告）

- 本機では使えないメモリーカードを入れた（20ページ）。

（メモリーカード誤消去防止に関する警告）

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

（フラッシュ関連の警告）

速い点滅

- フラッシュに異常がある。

（手ブレ警告）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

（落下検出警告）

- 落下検出機能（101ページ）が有効で、かつ落下を検出したため、内蔵ハードディスクを保護する処理を実行している。画像の撮影/再生ができなくなることがあります。
- 本機能は、すべての状況からの保護を保証するものではありません。本機を安定した状態に保ってご使用ください。

（静止画撮影に関する警告）

- メディアの空き容量がない。
- 処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。
- [録画モード]を[HD FX]に設定しているときは、動画記録中に静止画の撮影はできません。

（スマイルシャッターに関する警告）

- スマイルシャッターが使用できない状態になっている。

ちょっと一言

- メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

記録メディア

内蔵メモリーがフォーマットエラーです
HDDがフォーマットエラーです

- 本機の内蔵記録メディアが、出荷時と異なるフォーマットになっている。[メディア初期化]（97ページ）を行うと使えることがあります。その場合データはすべて消去されます。

データエラーが発生しました

- 本機の内蔵記録メディアへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- メッセージの前にGPSアイコンが付いている場合は、GPS受信機に問題が起きている可能性がある。本機の電源を入れ直す。
- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

管理ファイルが破損しています　新規作成しますか？
HD動画の管理情報が破損しています　新規作成しますか？

- 管理ファイルが破損している。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機の記録メディアにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります（画像ファイルは壊れません）。新規作成後[管理ファイル修復]を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合もあります。それでも再生できない場合、付属のソ

フトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーしてください。

HD動画の管理情報がありません 新規作成しますか?

- ハイビジョン画質(HD)の動画管理情報がないため、撮影や再生ができません。[はい]をタッチすると管理情報が新規作成され、ハイビジョン画質(HD)の動画の撮影・再生ができるようになります。
- 標準画質(STD)の動画や静止画の撮影は可能です。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか?
管理ファイルが破損しています　修復しますか?
管理ファイルに不整合が見つかりました HD動画を記録・再生できません　修復しますか?

- 管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。[はい]をタッチして修復する。
- メモリーカードへの静止画撮影は可能です。

バッファオーバー

- 落下検出が繰り返されたため、録画できない。落下が繰り返し発生する環境で撮影する場合は、[落下検出]を[切]にすると録画できる場合があります(101ページ)。

データ修復中

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みる。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

メモリーカードを入れなおしてください

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

このメモリーカードはフォーマットが違います

- メモリーカードを本機で初期化する(97ページ)。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

静止画用フォルダがいっぱいです 静止画の記録はできません

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(97ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

このメモリーカードは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(20ページ)。

このメモリーカードは正常に記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(20ページ)。
- ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

書き込み中にメモリーカードが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

その他

これ以上選択できません

- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(STD)で99個までしか動画を追加できません。
- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 画像のプロテクト、解除
  - ダビング
  - コピー
  - ハイビジョン画質(HD)の動画のプレイリスト編集

このデータはプロテクトされています

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間・枚数について

「HD」はハイビジョン画質、「STD」は標準画質を表しています。

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

HDR-CX550V（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
画質	HD	STD	HD	STD
NP-FV50（付属）	100	140	50	70
	110	150	55	75
NP-FV70	215	290	105	145
	230	315	115	155
NP-FV100	430	580	215	290
	455	625	225	310

HDR-XR550V（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
画質	HD	STD	HD	STD
NP-FV50（付属）	90	125	45	60
	95	135	45	65
NP-FV70	190	260	95	130
	205	280	100	140
NP-FV100	385	515	190	255
	405	555	200	275

- 上段：液晶画面を開いているとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき
- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  – 録画モード：「HQ」
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、MODEランプの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10 ～ 30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

HDR-CX550V（単位：分）

バッテリー型名		
画質	HD	STD
NP-FV50（付属）	190	240
	215	280
NP-FV70	395	490
	440	565
NP-FV100	785	980
	870	1120

HDR-XR550V（単位：分）

バッテリー型名		
画質	HD	STD
NP-FV50（付属）	155	200
	170	225
NP-FV70	325	415
	355	465
NP-FV100	650	830
	710	925

- 上段：液晶画面を開いているとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき

動画の撮影可能時間の目安

内蔵記録メディア

ハイビジョン画質(HD)のとき

録画モード	録画時間	
	HDR-CX550V	HDR-XR550V
[HD FX]	6時間	22時間50分
[HD FH]	7時間40分	29時間10分
[HD HQ]	15時間35分	59時間20分
[HD LP] (5.1ch)*	25時間15分	96時間10分
[HD LP] (2ch)*	26時間35分	101時間

標準画質(STD)のとき

録画モード	録画時間	
	HDR-CX550V	HDR-XR550V
[STD HQ] (5.1ch)*	15時間35分	59時間20分
[STD HQ] (2ch)*	16時間5分	61時間10分

* [オーディオモード]で録画時の音声フォーマットを変更できます(91ページ)。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(STD)で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 表に記載されている最大撮影時間まで使用する場合は、デモンストレーション用の動画の削除が必要です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。

メモリーカード

ハイビジョン画質(HD)のとき

(単位:分)

	AVC HD 24M (FX)	AVC HD 17M (FH)	AVC HD 9M (HQ)	AVC HD 5M (LP) 5.1ch*	AVC HD 5M (LP) 2ch*
1GB	5 (5)	6 (6)	10 (9)	20 (15)	20 (15)
2GB	10 (10)	10 (10)	25 (15)	45 (35)	45 (35)
4GB	20 (20)	25 (25)	55 (40)	90 (70)	95 (75)
8GB	40 (40)	55 (55)	115 (80)	185 (150)	195 (155)
16GB	85 (85)	110 (110)	230 (160)	375 (300)	395 (315)
32GB	175 (175)	225 (225)	465 (325)	750 (605)	790 (630)

標準画質(STD)のとき

(単位:分)

	STD 9M (HQ) 5.1ch*	STD 9M (HQ) 2ch*
1GB	10 (10)	10 (10)
2GB	25 (25)	25 (25)
4GB	55 (50)	55 (50)
8GB	115 (100)	115 (105)
16GB	230 (205)	235 (210)
32GB	465 (415)	475 (425)

* [オーディオモード]で録画時の音声フォーマットを変更できます(91ページ)。

ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[録画モード]（28ページ）によっても変わります。
- （　）内は最低録画時間です。

静止画の撮影可能枚数の目安

内蔵記録メディア

最大9,999枚撮影できます。

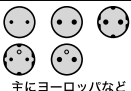
メモリーカード

	12.0M
1GB	165
2GB	335
4GB	670
8GB	1350
16GB	2750
32GB	5500

- （静止画）ランプが点灯しているときの画像サイズです。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶画面上でご確認ください（133ページ）。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

ちょっと一言

- 各録画モードのビットレート（動画＋音声など）、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
  - ハイビジョン画質（HD）：
    FX：最大24Mbps 1,920×1,080画素/16：9
    FH：約17Mbps（平均）1,920×1,080画素/16：9
    HQ：約 9Mbps（平均）1,440×1,080画素/16：9
    LP：約 5Mbps（平均）1,440×1,080画素/16：9
  - 標準画質（STD）：
    HQ：約 9Mbps（平均）720×480画素/ 16：9、4：3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  - 静止画撮影モード：
    4,000×3,000ドット/ 4：3
    4,000×2,250ドット/16：9
    2,880×2,160ドット/4：3
    1,600×1,200ドット/ 4：3
    640×480ドット/ 4：3
  - デュアル記録：
    3,840×2,160ドット/16：9
    2,880×2,160ドット/ 4：3
  - 動画から静止画作成：
    1,920×1,080ドット/16：9
    640×360ドット/ 16：9
    640×480ドット/ 4：3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V ～ 240V、50Hz/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

ハイビジョン画質（HD）で見るには

ハイビジョン画質（HD）で記録した画像をハイビジョン画質（HD）で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントA/Vケーブル（別売）またはHDMIケーブル（別売）が必要です。
本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）」を参照してください。

標準画質（STD）で見るには

標準画質（STD）で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

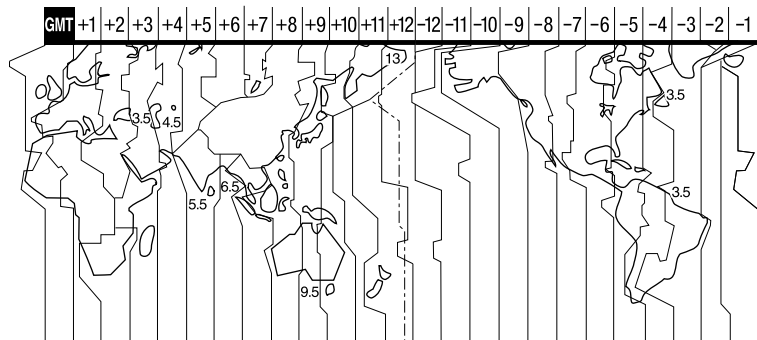
アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

その他

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、MENU（メニュー）→［ほかの項目］→ 🔧［一般設定］の［時計設定］→［エリア設定］と［サマータイム］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（100ページ）。

［自動時刻補正］・［自動エリア補正］が［入］の場合、GPSにより自動的に現地時間に設定されます（56ページ）。

世界時刻表

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、1080i方式*[1]や720p方式*[2]のHD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、または、リニアPCM方式を採用しています。
MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。この方式により、8cmDVDディスク、ハードディスクドライブ、フラッシュメモリ、メモリーカードなどにデジタルビデオカメラの高画質なハイビジョン映像信号を記録することができます。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、以下の仕様でHD(ハイビジョン)記録ができます。
また、AVCHD規格でのHD(ハイビジョン)記録に加え、従来からのMPEG-2規格でSTD(標準)記録することもできます。

映像*[3]:MPEG-4 AVC/H.264 1920×1080/60i、1440×1080/60i
音声:ドルビーデジタル2ch/5.1ch
記録メディア:
HDR-CX550V:内蔵メモリー、メモリーカード
HDR-XR550V:内蔵ハードディスク、メモリーカード

*[1] 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格
*[2] 720p 有効走査線数720本、プログレッシブ方式のハイビジョン規格
*[3] 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

GPSについて

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。
GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。
位置を計算することを測位と呼び、衛星は3機以上受信できれば、緯度、経度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
  - トンネルの中・屋内やビルの陰
  - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
  - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高圧電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
  - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合

誤差について

- GPSスイッチを「ON」にした直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
  本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約30m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
  本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。位置情報の取得と画像への書き込みに若干の時間差があるため、実際に画像を撮影した位置と地図上の位置が異なる場合があります。

飛行機内規制について

- 飛行機の離着陸時には、機内の案内に従ってGPSスイッチを「OFF」にして、電源をお切りください。その他ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。

地図データについて

- 地図データには主に下記の国・地域が収録されています。(五十音順)
  オセアニア・北アメリカ・日本・ヨーロッパなど
- 収録されている日本地図は株式会社ゼンリン、海外地図はNAVTEQによって提供されています。
- 地図データの内容は制作時現在のものです。
- 地図は2Dで表示されます。また、地図上で一部の建物などが3Dアイコンで表現されているのは日本の地図のみです。
- 地図は常に北を上に表示するノースアップ固定です。
- 地図上の言語は変更できません。
- 地図データの更新は行えません。
- 地図の縮尺は、25m ～ 6000kmです。

測地系について

- 本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

著作権について

- 本機に搭載されている地図データは、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ナビゲーション機能について

- 本機はナビゲーション機能を搭載していません。

日本
- 日本の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号　平20業使、第204-46号)
- 日本の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H•1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号　国地企調発第78号平成16年4月23日)

Australia
  Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psma.com.au).

Austria
  © Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen

Croatia, Estonia, Latvia, Lithuania, Poland and Slovenia
  © EuroGeographic

France
  source: Géoroute® IGN France & BD Carto ® IGN France

Germany
  Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zustaendigen Behoerden entnommen.

Great Britain
  Based upon Crown Copyright material.

Greece
  © EuroGeographics; Copyright Geomatics Ltd.

Hungary
Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy
La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway
Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal
Source: IgeoE – Portugal
Spain
Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden
Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland
Topografische Grundlage: © Bundesamt für Landestopographie.

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機で初期化をしてください(97ページ)。初期化するとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録・再生
“メモリースティック デュオ”（マジックゲート対応）	—
“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2）	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○*

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Vシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリー Vシリーズには InfoLITHIUM V マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター /チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
- バッテリー NP-FV50は、“ActiFORCE”に対応しています。
  “ActiFORCE”とは、当社従来の“インフォリチウム”バッテリー Pシリーズ電源システムと比較して高容量、急速充電、バッテリー残量計算精度・スピードを改善した、次世代電源システムの機能名称です。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10 ～ 30℃の範囲で、⚡/CHG（フラッシュ /充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FV70/FV100」（別売）を使う
- 液晶パネルの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FV70/FV100」（別売）のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに液晶画面を閉じるようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、MENU（メニュー）→[ほかの項目]→[一般設定]の[電源設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください（101ページ）。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color（エックスブイ・カラー）について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

長時間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
  電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
  次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
  - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
  - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
  - スコールや夏の夕立の後
  - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
  本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

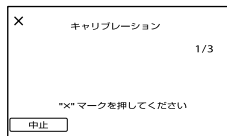
- 液晶画面を強く押すと、画面にムラが出ることがあります。また、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

液晶画面のお手入れ

- 液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。
- 別売の液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ってください。

① MENU(メニュー)→[ほかの項目]→[一般設定]の[その他一般設定]→[キャリブレーション]をタッチする。

② メモリーカードの角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[中止]をタッチする。

ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つけるおそれがあります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。
充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶画面を閉じて24時間以上放置する。

本機の廃棄・譲渡に関するご注意

動画と静止画の全削除や、[メディア初期化]を行っても、本機の内蔵記録メディア内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは、[データ消去](97ページ)を行って、内蔵記録メディア内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式

NTSCカラー、EIA標準方式

HDTV 1080/60i方式

ビデオ記録方式
HD画質：MPEG-4 AVC/H.264
AVCHD規格準拠
STD画質：MPEG-2 PS

音声記録方式
Dolby Digital 2ch/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

静止画ファイルフォーマット
：DCF Ver2.0準拠
：Exif Ver2.21準拠
：MPF Baseline準拠

記録メディア（動画・静止画）
内蔵メモリー
HDR-CX550V：64GB
内蔵ハードディスク
HDR-XR550V：240GB
"メモリースティック PRO デュオ"
SDカード（Class 4 以上）

容量は、1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用いただけるユーザー容量は、次のとおりです。
HDR-CX550V 約62.8GB
HDR-XR550V 約238GB

ファインダー：電子ファインダー（カラー）

撮像素子：6.3 mm（1/2.88型）CMOSセンサー
記録画素数：静止画時 最大1 200万画素相当*1
（4 000×3 000）（4：3時）
総画素数：約663万画素
動画時有効画素数*2（16：9）：約415万画素
静止画時有効画素数（16：9）：約450万画素
静止画時有効画素数（4：3）：約600万画素

ズームレンズ：Gレンズ
10倍（光学）*2、14倍*3、120倍（デジタル）
フィルター径：37 mm
F1.8 ～ 3.4
f=3.8 ～ 38.0 mm
35mmカメラ換算では
動画撮影時*2：
29.8 ～ 298 mm（16：9）
静止画撮影時：
26.3 ～ 263 mm（4：3）

色温度切り換え：[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内]（3 200 K）、[屋外]（5 800 K）

最低被写体照度：
11 lx（ルクス）（お買い上げ時、[シャッタースピード] 1/60秒）
3 lx（ルクス）（LOW LUX時、[シャッタースピード] 1/30秒）
0 lx（ルクス）（NIGHTSHOT時）

*1 ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。
*2 [手ブレ]補正が[スタンダード]、または[切]のとき
*3 [手ブレ]補正が[アクティブ]のとき

入/出力端子

A/Vリモート端子：コンポーネント、映像音声出力兼用端子

HDMI OUT端子：HDMIミニコネクタ

USB端子：mini-AB

ヘッドホン端子：ステレオミニジャック（φ3.5 mm）

MIC入力端子：ステレオミニジャック（φ3.5 mm）

液晶画面

画面サイズ：8.8 cm（3.5型、アスペクト比16：9）

総ドット数：921 600ドット
横1920×縦480

電源部、その他

電源電圧：バッテリー端子入力 6.8 V/7.2 V
DC端子入力 8.4 V

消費電力：ファインダー使用時、明るさ標準：
HDR-CX550V：
HD：3.4 W　STD：2.5 W
HDR-XR550V：
HD：3.8 W　STD：2.8 W

液晶画面使用時、明るさ標準：
HDR-CX550V：
HD：3.6 W　STD：2.7 W
HDR-XR550V：
HD：4.0 W　STD：3.0 W

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：
HDR-CX550V
66 × 74 × 143 mm
（突起部を含む）（幅×高さ×奥行き）
66 × 74 × 143 mm
（突起部を含む、付属バッテリー装着状態）
（幅×高さ×奥行き）
HDR-XR550V
70 × 74 × 143 mm
（突起部を含む）（幅×高さ×奥行き）
70 × 74 × 143 mm
（突起部を含む、付属バッテリー装着状態）
（幅×高さ×奥行き）

本体質量：
HDR-CX550V
約440 g（本体のみ）
HDR-XR550V
約510 g（本体のみ）

撮影時総質量：
HDR-CX550V
約490 g（付属バッテリー含む）
HDR-XR550V
約570 g（付属バッテリー含む）

ACアダプター　AC-L200C/AC-L200D

電源：AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz

消費電力：18 W

定格出力：DC 8.4 V*

動作温度：0 ℃～ 40 ℃

保存温度：－20 ℃～ +60 ℃

外形寸法：約 48×29×81 mm（最大突起部をのぞく）（幅×高さ×奥行き）

質量：約170 g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV50

最大電圧：DC 8.4 V

公称電圧：DC 6.8 V

容量：
公称容量：7.0 Wh（1 030 mAh）
定格（最小）容量：6.6 Wh（980 mAh）

使用電池：Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK™、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- “BIONZ”はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- DVDirectはソニー株式会社の商標です。
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- NAVTEQおよびNAVTEQ Mapsロゴは、NAVTEQの米国およびその他の国における商標です。
- SDXC、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultimediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

（i）消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

（ii）AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-SX43をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

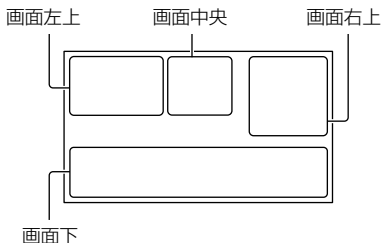
修理に出される前のご注意（103ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

画面表示

画面左上

表示	意味
MENU	メニューボタン(78)
♪5.1ch ♪2ch	オーディオモード(91)
	セルフタイマー(92)
	GPS測位状況(54)
	フラッシュ(93)/ 赤目軽減(93)
	マイク基準レベル低(90)
4:3	ワイド切換(92)
	内蔵ズームマイク(90)
60分	バッテリー残量の目安
101	記録フォルダ
	戻るボタン(78)

画面中央

表示	意味
[スタンバイ]/ [●録画]	撮影状態(23)
12.0M 9.0M 6.2M 1.9M VGA	静止画サイズ(92)
	スライドショー設定(40)
	NightShot(31)
	警告(111)
	再生表示(34)
OFF	落下検出切(101)
	落下検出中(101)

画面右上

表示	意味
HD HQ STD HQ	記録画質(HD/STD)と録画モード(FX/FH/HQ/LP)(28)
	記録/再生/編集メディア(19)
0:00:00	カウンター(時：分：秒)(34)
[00分]	記録残量時間の目安(23)
ホワイトフェーダー ブラックフェーダー	フェーダー(83)
9999 9999 9999	およその静止画撮影可能枚数と記録メディア(25)
101	メモリーカードの再生フォルダ(35)
100/112	再生中の動画・静止画の番号/記録している動画・静止画の数(34)

画面下

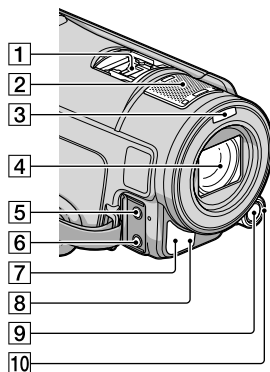
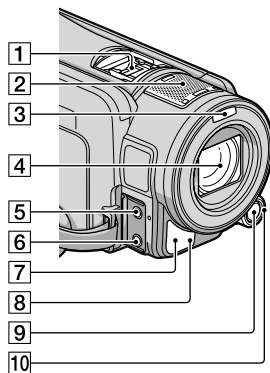
表示	意味
OFF	顔検出切(89)
	スマイル検出(90)
	LOW LUX(89)
	手動フォーカス(86)
	シーンセレクション(83)
	ホワイトバランス(84)
OFF	手ブレ補正切(89)
	SPOT測光フォーカス(85)/スポット測光(85)/カメラ明るさ(85)
AS	AEシフト(86)
WS	WBシフト(87)
T	テレマクロ(86)
COLOR	X.V.COLOR(91)
10000	シャッタースピード(32)
F1.8	絞り(32)
W T	アクセサリーレンズ(89)

表示	意味
	おまかせオート(27)
	オプションボタン(80)
	画像再生ボタン(33)
	スライドショーボタン(40)
	現在地表示ボタン(54)
101-0005	データファイル名(35)
	プロテクト(46)
	インデックス表示ボタン(35)

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。
- お使いの機種によって表示されないものがあります。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。

HDR-CX550V

HDR-XR550V

1 アクティブインターフェースシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源の入/切に連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。
接続機器が外れにくい構造になっています。

取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。

- シューカバーを開閉するときは、矢印の方向にずらしてください。
- フラッシュ（別売）を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売のフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（30ページ）。

2 内蔵マイク（30）

3 フラッシュ発光部

4 レンズ（Gレンズ搭載）

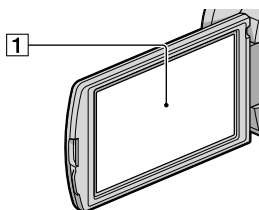
5 MIC（PLUG IN POWER）端子

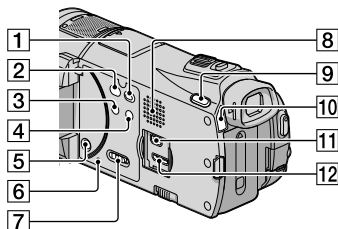
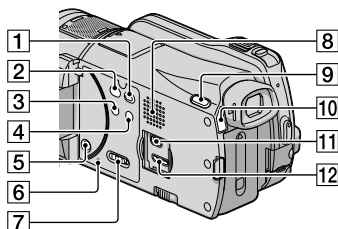
6 ∩（ヘッドホン）端子

7 リモコン受光部・赤外線発光部
リモコン（136ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

8 録画ランプ（102）
録画時に赤く点灯します。
記録メディアやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

9 MANUAL（マニュアル）ボタン（31）

10 MANUAL（マニュアル）ダイヤル（31）

1 液晶画面/タッチパネル（22、31）
液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。

HDR-CX550V

HDR-XR550V

1 ▶（画像再生）ボタン（33）

2 （ワンタッチ ディスク）ボタン（64）

3 NIGHTSHOT（ナイトショット）ボタン（31）

4 iAUTO（おまかせオート）ボタン（27）

5 POWER（電源）ボタン（17）

6 RESET（リセット）ボタン
先のとがったもので押してください。
日時を含めすべての設定が解除されます。

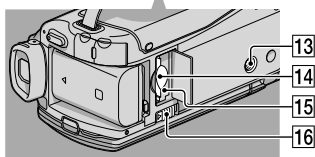
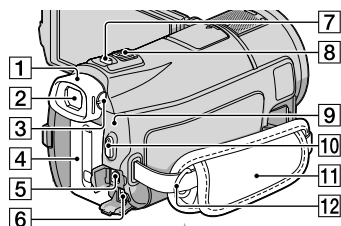
7 GPSスイッチ（54）

8 スピーカー

9 MODE（モード）ボタン（22）

10 （動画）/（静止画）ランプ（22）

11 （USB）端子（60）

12 HDMI OUT端子（41）

各部のなまえ・索引

HDR-CX550V

HDR-XR550V

1 アイカップ

2 ファインダー(23)

3 視度調整つまみ(23)

4 バッテリーパック(14)

5 A/Vリモート端子(41)

6 DC IN端子(14)

7 PHOTO(フォト)ボタン(25)

8 ズームレバー(27、39)

9 ϟ/CHG(フラッシュ /充電)ランプ(14)

10 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(23)

11 グリップベルト(22)

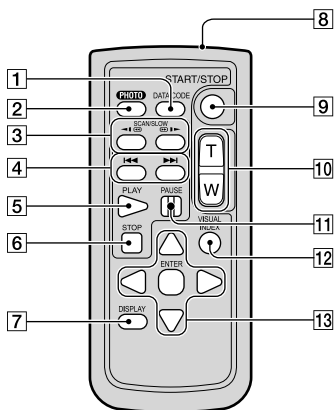
12 ショルダーベルト取り付け部

13 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴に取り付けます。

14 メモリーカード スロット(21)

15 メモリーカードアクセスランプ(21)
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。

16 BATT(バッテリー)取り外しレバー(15)

ワイヤレスリモコン

1 DATA CODE(データコード)ボタン(95)
再生中に押すと、日付時刻データ/カメラデータ/緯度経度データを表示します。

2 PHOTO(フォト)ボタン(25)
押したときの画像が静止画として記録されます。

3 SCAN/SLOW(スキャン/スロー)ボタン(34)

4 ⏮/⏭(前の画像/次の画像)ボタン(34)

5 PLAY(再生)ボタン

6 STOP(停止)ボタン

7 DISPLAY(画面表示)ボタン(23)

8 リモコン発光部

9 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(23)

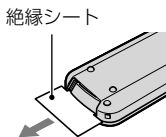
10 ズームボタン

11 PAUSE(一時停止)ボタン

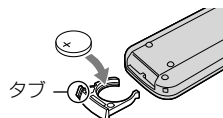
12 VISUAL INDEX(ビジュアルインデックス)ボタン(34)
再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示します。

13 ◀/▶/▲/▼/ENTER(決定)ボタン
いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示されます。
◀/▶/▲/▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す。

ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください(135ページ)。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び◀/▶/▲/▼またはENTER(決定)ボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀/▶/▲/▼で操作できないボタンもあります。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
② +面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

警告

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品やメモリーカードなどを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

禁止

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中および消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取り外すときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。

禁止

- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

⚠注意

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

索引

マ

ヤ

ラ

ワ

アルファベット

数字